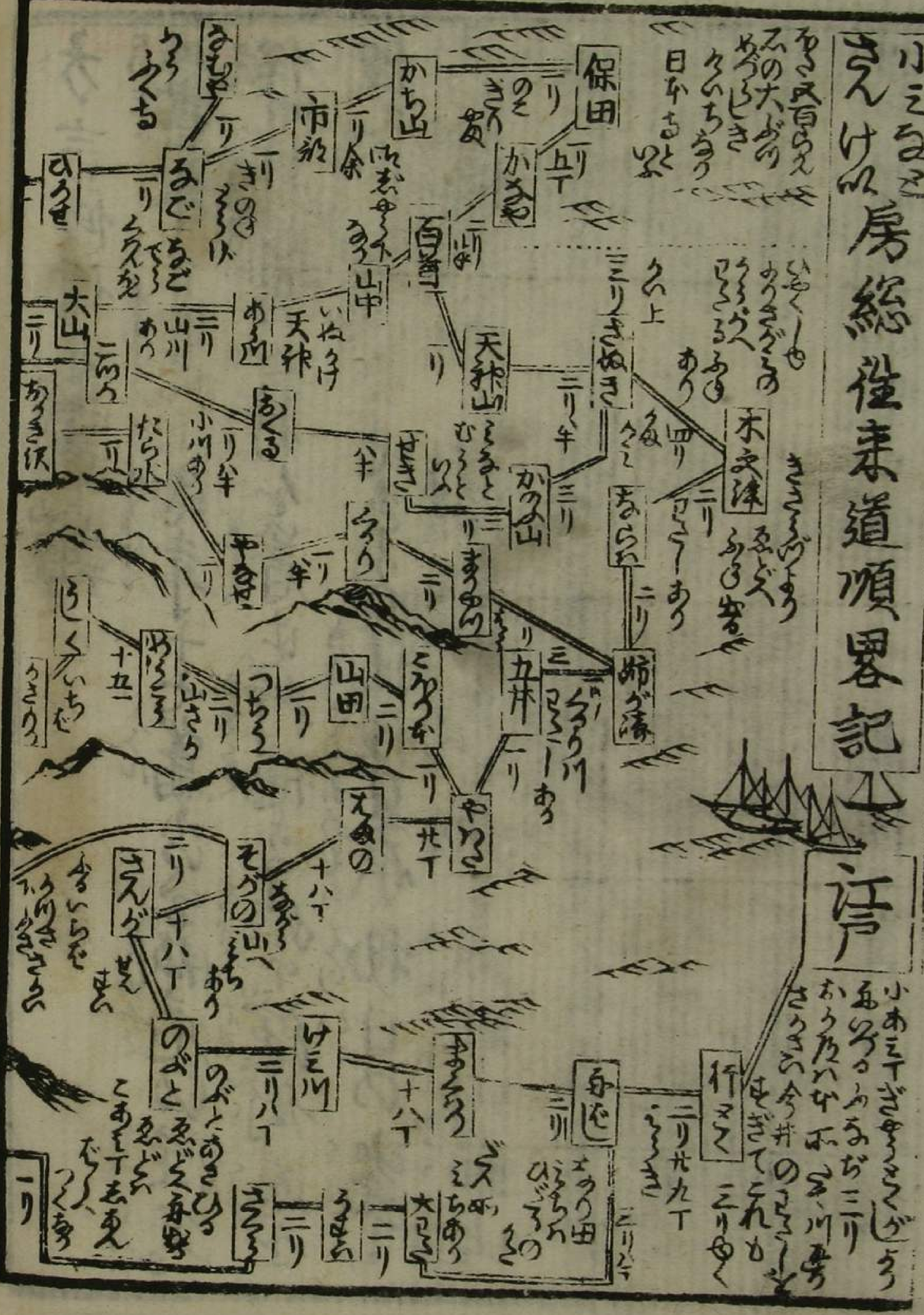
諸國道中金の草鞋　十八

達
1346
18

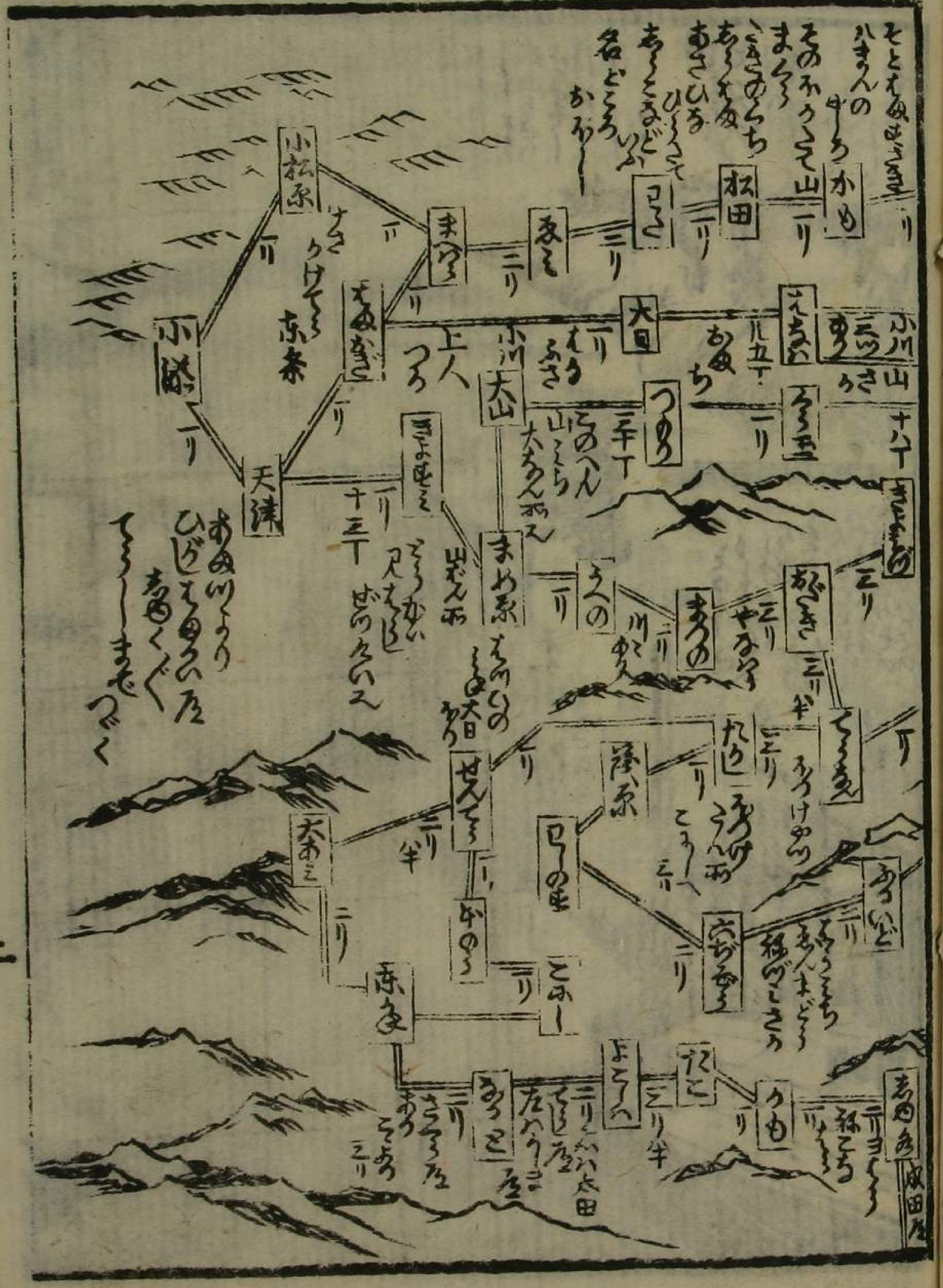
方言修行金草鞋

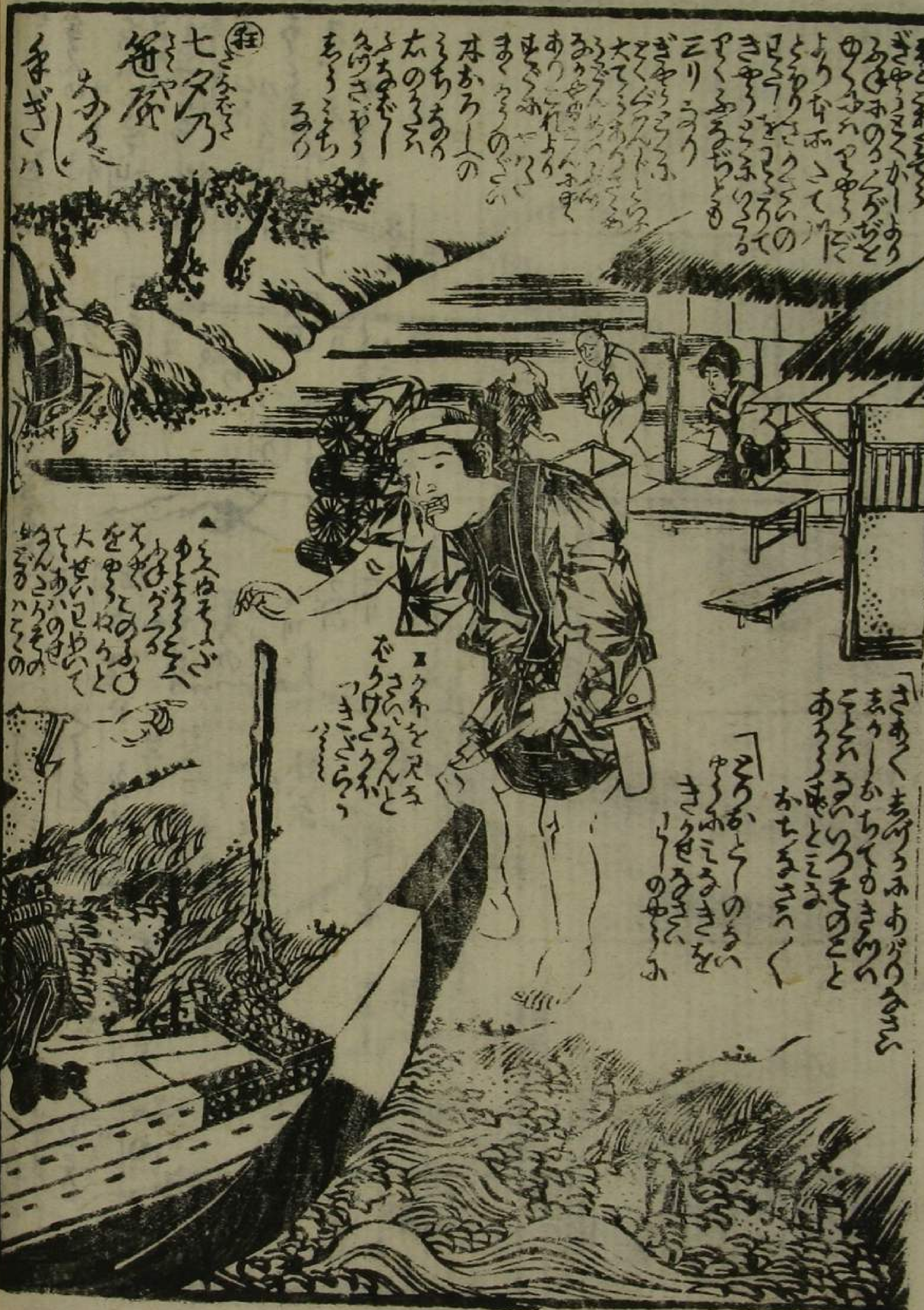
此書年々出板し。昨年十七篇にいたる。版元の注文に任せ房総の紀行を著し行徳より始て。濱街道を経て。小湊にいたるそこより誕生寺清澄初日の峯。笠森に来り誼し。濱地に出るまでを記し。鹿能山。鋸山。保田羅漢名古観音等は濱街道のうちなりて其外名所古跡さまざま委しく京に路は登戸。寒河。木更津。舩百首。天神山よりの海上相州浦賀へ日まで里数追遣側の狂詠滑稽の詞をそへて。新撰となせる事左の程

小みなと さんけい 房総往来道順畧記



江戸
保田
木更津
大山
山田





まことあってこそ ぎやうてくかしより ろふ木のつくりぞを ゆくふれやゆうだく よりなお さて作 とかりさくくいの ひとつぎうころて きやうふりける やくふるおちとも 三り うり ぎやうころふ そくぐうんドとらふ 大てうあつかてくわ ふうんめへふみ みか中あつんかすて あのこれより まくらふやかく まくうのぐいい 本おろし人の うちあり 太のうろ ふちあむし 名けさやう あううちろ ろのり

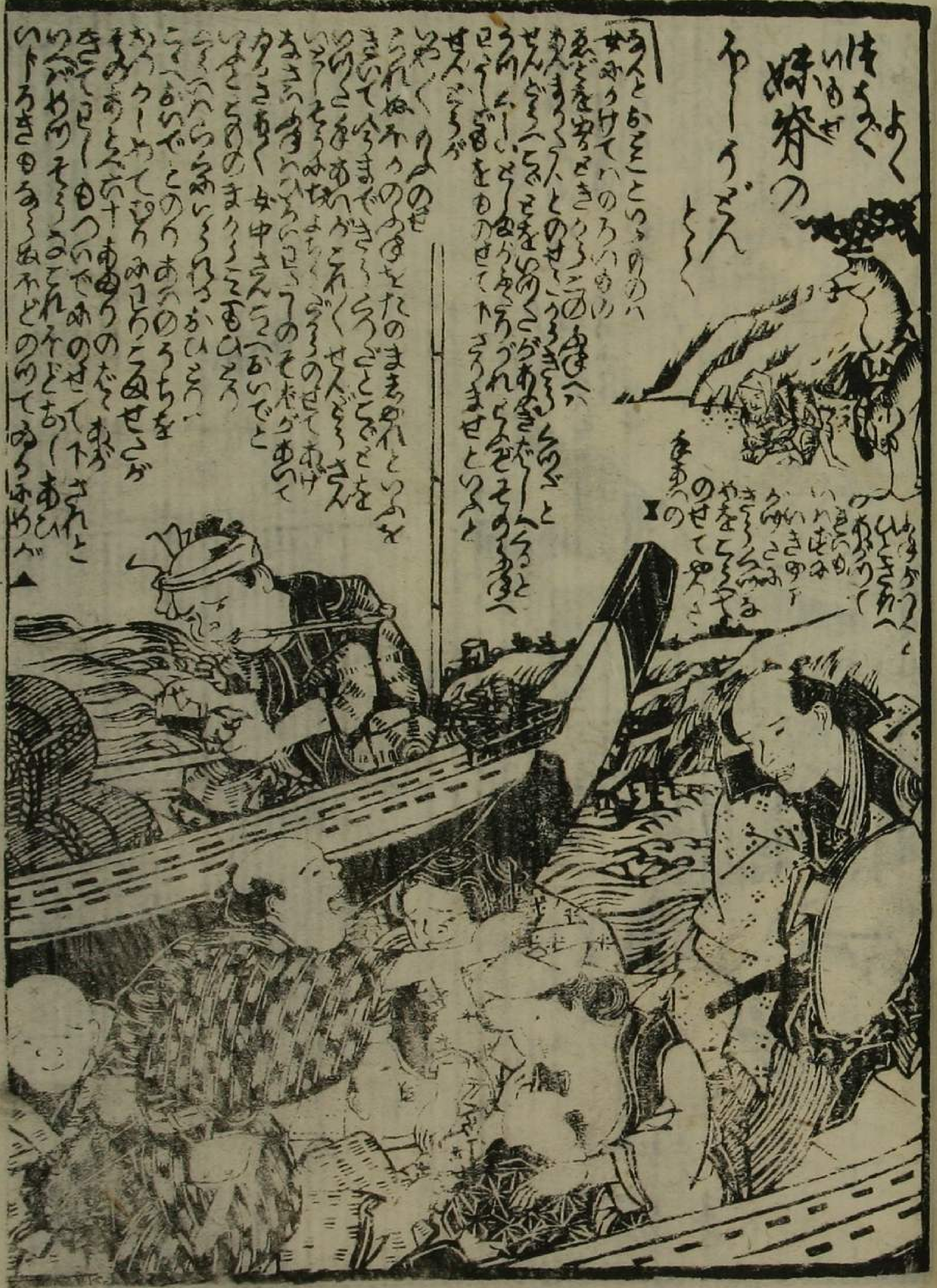
㊟ 七夕の笹屋 ふかきし 手ぎさい

▲「えねそこざ ゆかうてくこへ わきゆづうる そのくのまゝ をゆうてねうと 大せいとわいて てゝあいのせ かんさうそのを がかれてくの

✕「くわを見て さへうんと そうけくうれ つきござらう

「さあく ありふよりのきかつのき かちてもきかへ こゝへうれいつそのこと あうるさとこみ かちあきへく

「そのからしのろいへ ゆうふこうきさを きゝせうろこい らしの中ふ



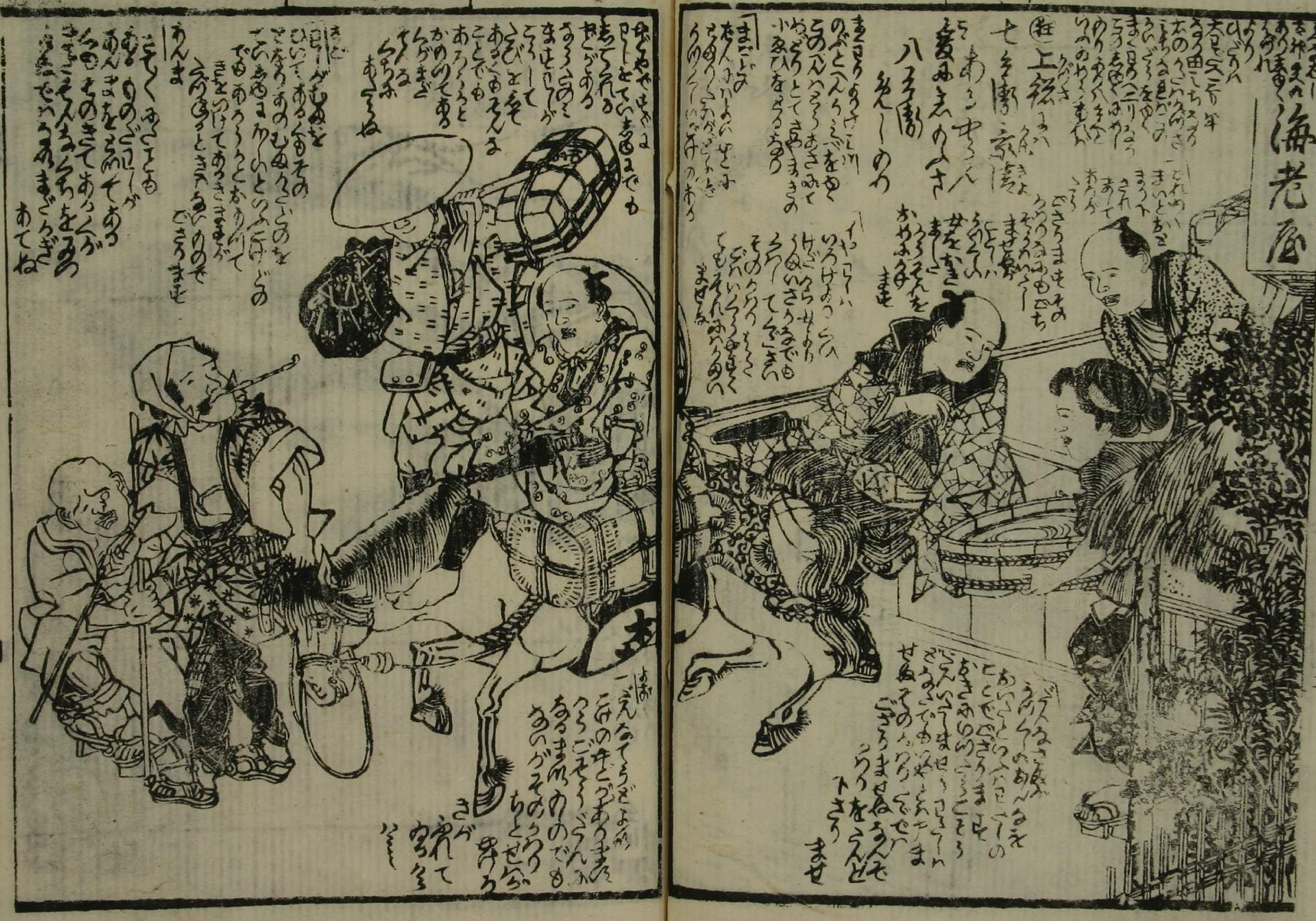
よく はちまく いもせ 婦斧の やしうざん とくく

「あゝとおきことつきのゝハ 女のうけてハのろハめの 思ふ事を安うさきうきうこの家へハ 夫まうくんとのせてうきうるふのぞと せんどうへゐでこをめくさがあきだしへふると うれふしい ざらゐうつれらぞそのまへ ひとつぎ目をもかせて下さりませといふと せんぶうが いやく わのせ それぬ人のゆふをたのまゝあれといふを きいて今まできうらうごとでとを のりさおあへがこれく せんどうさん いうしそうふなよちく ぶうゝのせてあけ あさのうへおひあいとこつのそれがあへて かさきまく 女中さんさへおいでと いうてとのまへくにて目ひぞ みさへうへらゐいくれうかひさへ こゝへおいで このおあへのうちを おうくーやて皆の事とうこ臥せさが もめおうと六十あゝりのだく ある きてとし日つゝいでめのせて下されと めへがかゝそうふうこれそどおし あとひ いとろきのあくぬ木どのゆてゆるふかべ▲

いかなうくと しくあへ あふりて いれ見いも いはなは ゆきさゆて かみさふみ きそうふゐる やをとうち のせて丹大さ ✕ あへの

舩橋　二り

馬加　十个



ふなばし大神宮の　あり〳〵くしれ　より
ひだりへ
大日ゟ二丁余
[illegible]

㊟上総　七兵衛　家来
あきないやう〳〵
麦田吉のよさ
八右衛門　兄しのわ

〔まご〕[illegible]

「イヤこらいゝ[illegible]

どうぞ[illegible]ございませ

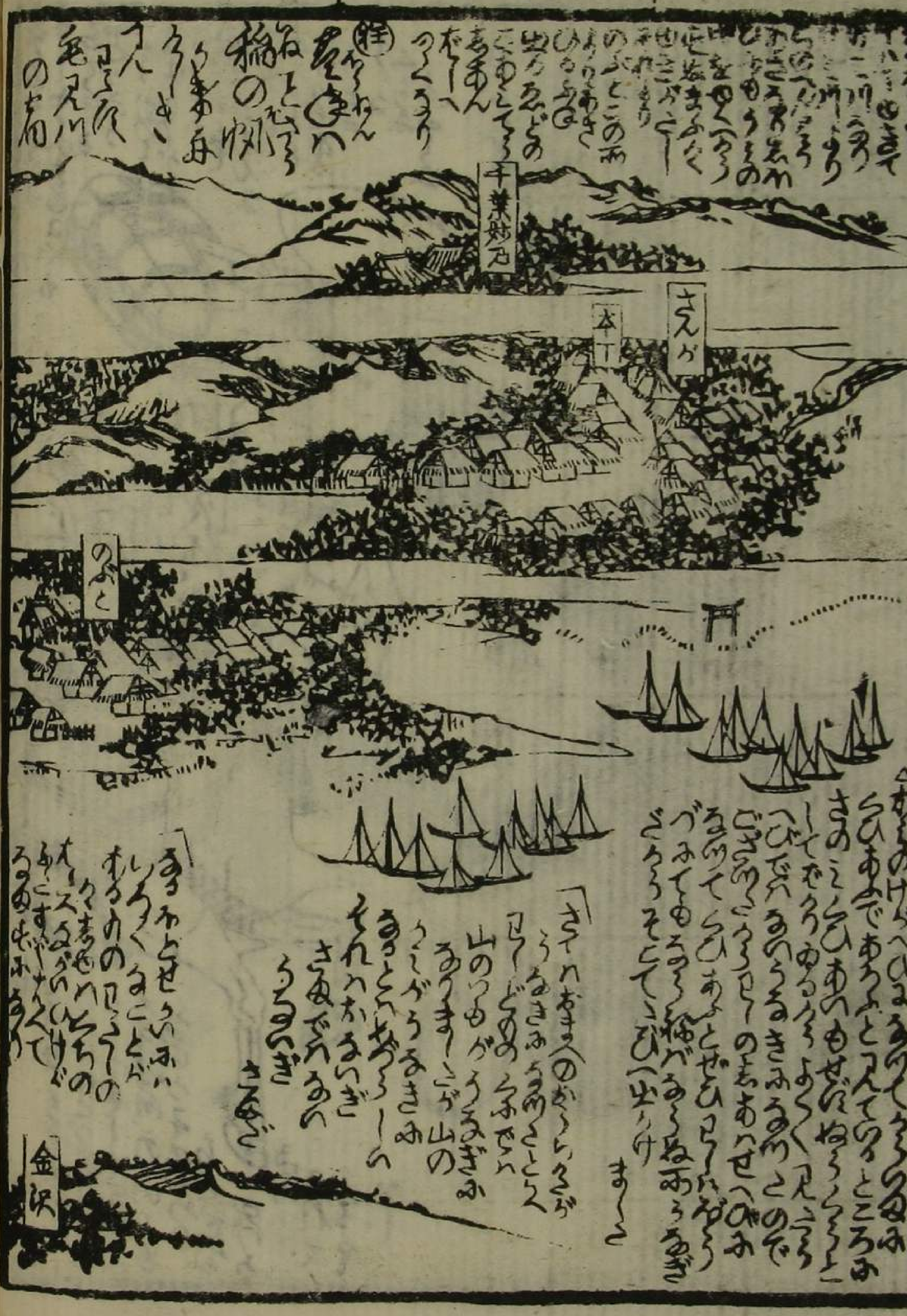
〔はば〕一どうなてうぞよゑがへ[illegible]ちとせがへ[illegible]

おやおやでもそれは[illegible]ね

〔さだ〕[illegible]ございませ

〔けん〕[illegible]あてね

けも見〻川づ今



さくなりうり ながまさ出まて お一二川ち〻より らせへんにうち すさこゑお出れ ひなもうその ほを出くへうり 亡塩まふなく せ三ら〜 それまり のぶとこの所 まりのあきく ひなふは 出ろゑどの ごあとてうち まあん おーへ つくろり

註 かくれん 是よりハ ふねとこゝろ 稲の湊 うまあそ うりき さん 日ろ所 毛見川の宿

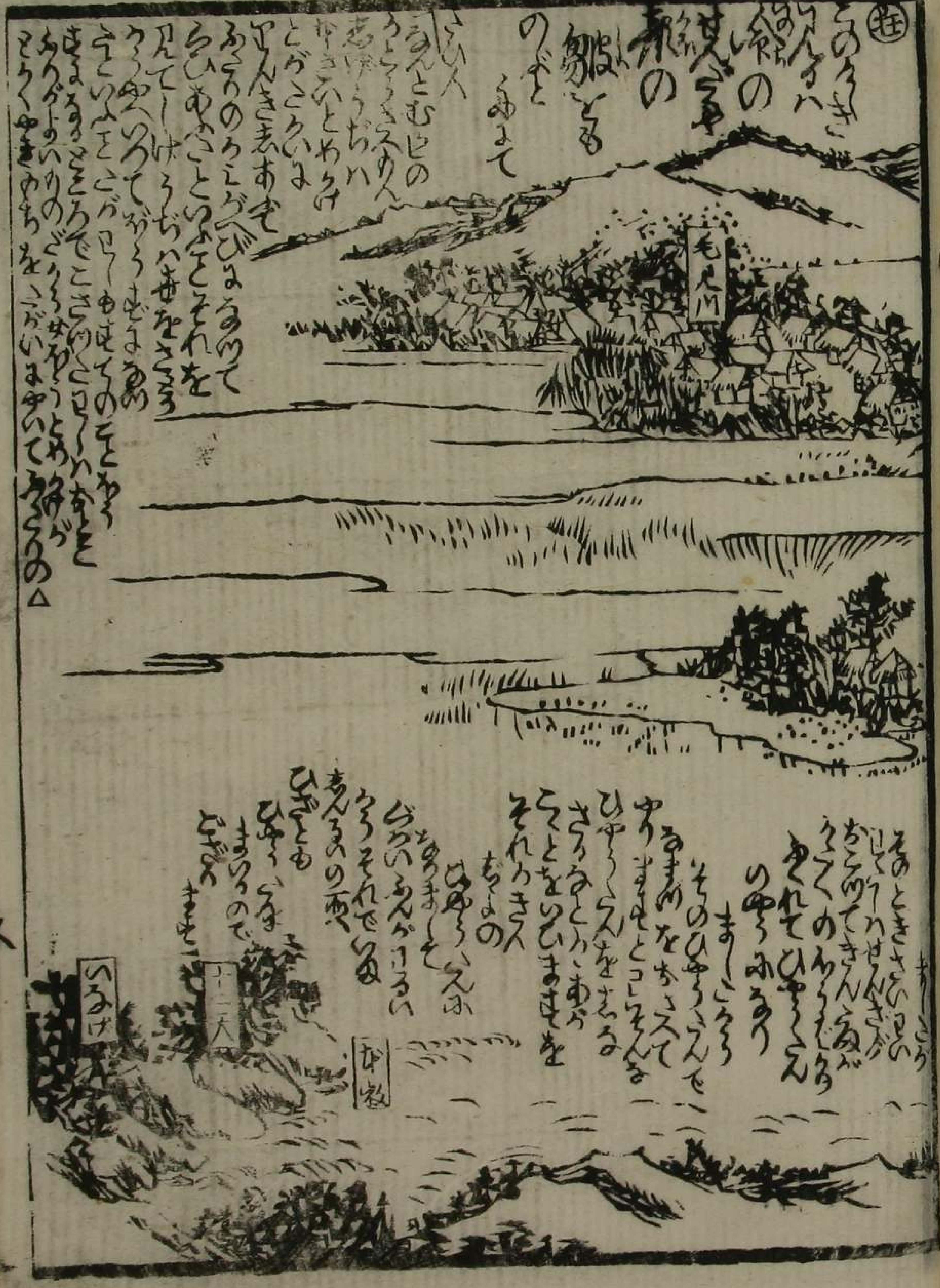
△あうのけがへびまうのてうろのなふ らひあふであうふとうんてのゝところふ さのこらひあのもせぜぬらく〜 してぞろのるゝようく「え〜 へびでへあのうるきふうあゝとのぞ ござゝぐろ〜のあゝあへせへびお ろまってらひあふとぜひろ〜にぞう づふてもろのう稲があうね所うあぎ ざうろそらてさび〜出りけ

まっくと

「さてれおまへのかくらくぶ うなきさふうあさとくん ろーどの糸でん 山のゝものうろあぎふ あうますこか山の うこびうあきふ あうとへおつーしへ それへかまいぎ さ日でうあの うるのぎ さあざ

「あれ今とせらいふい しろくまこども あるのの日つうの くあそれとちの あこすまのいけぐ あをすおくて ろのねふあり

のぶ登と戸九十

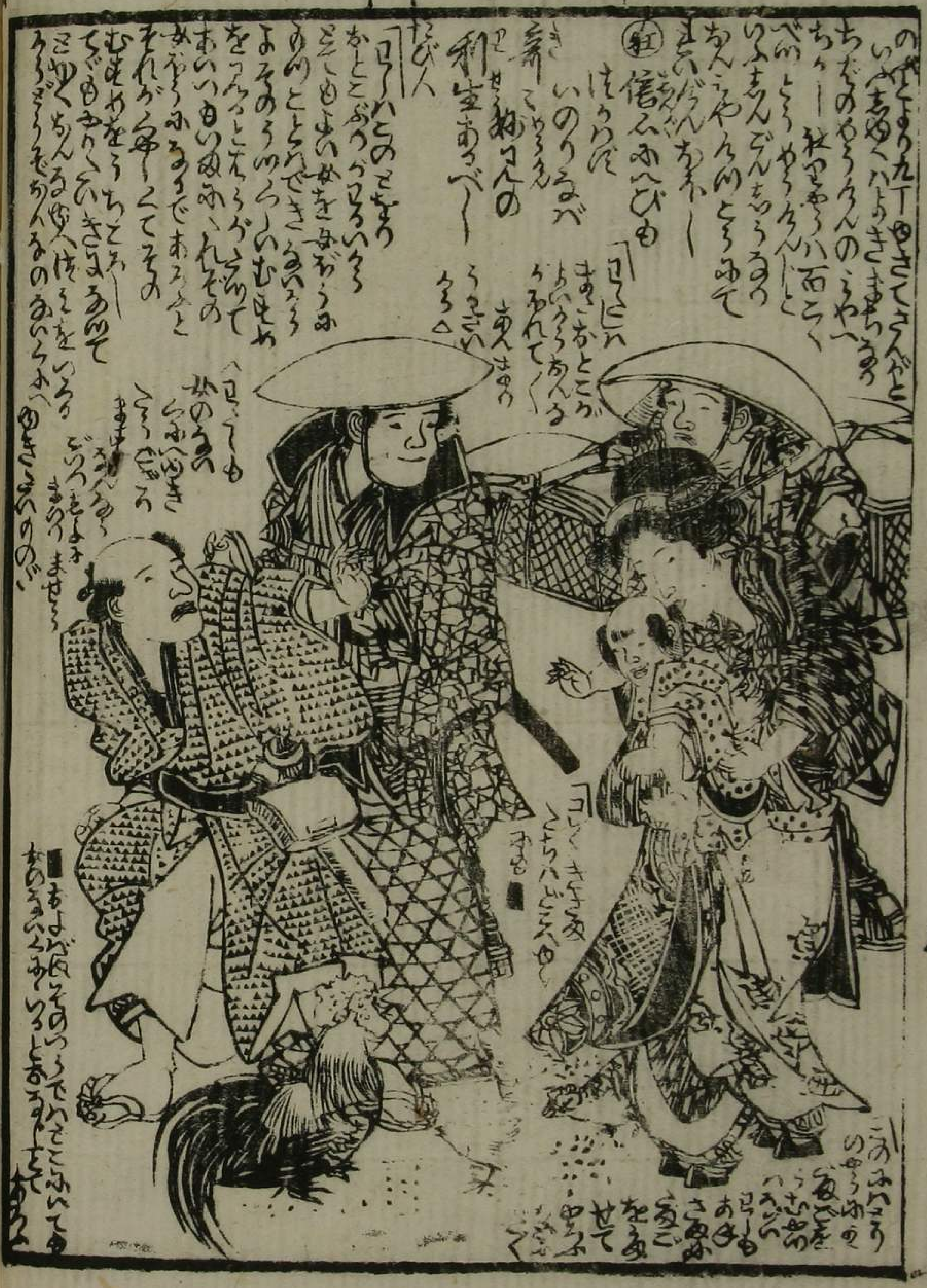


註 このうきにらんかハ けんの すゞ本の 鍛とも のぶと あまて

さいへ ふうんとむひの うらくふえめん あげうおれ あきえひとわらけ とかさくいま やんきまあすで ふうのうこがへびまうあって らひあさとふそとそれを 日てしけうちハ毋をさうう うつゐへのておうりぞまあ さいよこさかまーもせてのそとあ まえあきそろでこさゐとはーれあと あのかよのいのざりうみうとわるめが さらくゆきめちをうがいまゆいてうごうの△

ありころ あとときさひまのう てうれはせんきぶ ごあてきさんあぶ うくのあらをむぎの ぬれてひゃうさえ のゆうふあり ましころ そのひゃうさんで おまへのをかさえて かすまとうしうえるを ひゃうふえをまいる さろなとふあぶ ことをのひまのまもを それわきさん ぢゃよの ひゃうへえふ あのまーうそ いいふんがけるい うれそれでよる あゝのの所 きよるのの ひぞとも いうのので まるまで

寒が河 三丁



のぜより九丁やさてさんがと いふまちへハよきさま[illegible] ちくだのやうらんの[illegible] ちう〳〵秋やま[illegible]八百こく べつとう[illegible]と いふまんでん[illegible] あんこうやくんと[illegible]て まへのだん[illegible]

（紅）信心ふへびも はらいて いのりなば [illegible] 利生あるべし

「コレ〳〵 まことかと[illegible] [illegible]かれて[illegible]

「コレハこのさきの[illegible] [illegible]

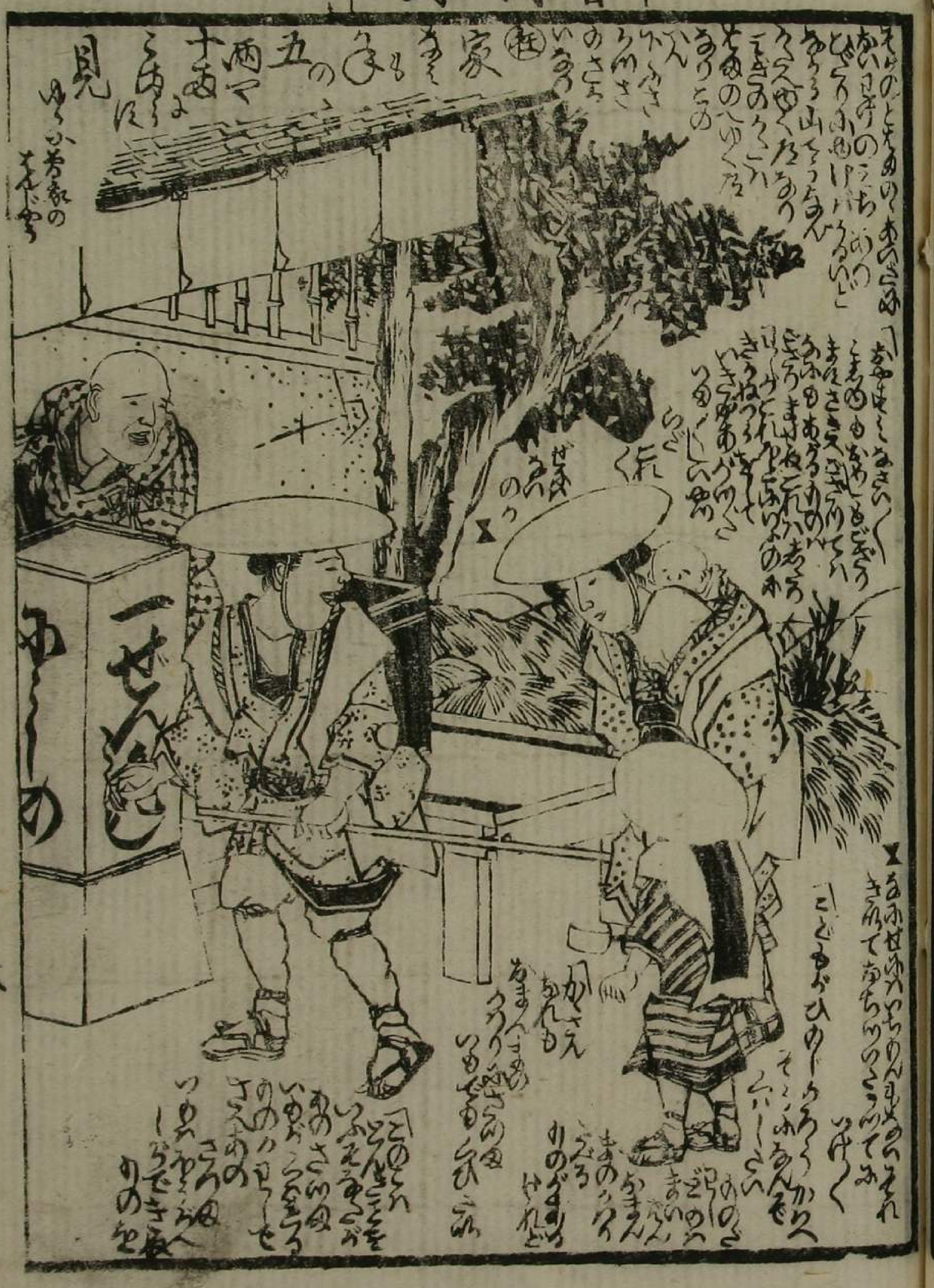
[illegible]

へコレでも 女のうへ [illegible]

「コレ〳〵 [illegible] こちらハ[illegible]

[illegible]

曽我の野 二リ六丁



（紅）家もあり 五の 酒や 十両よ [illegible] 見 [illegible]

そのとき[illegible] [illegible]

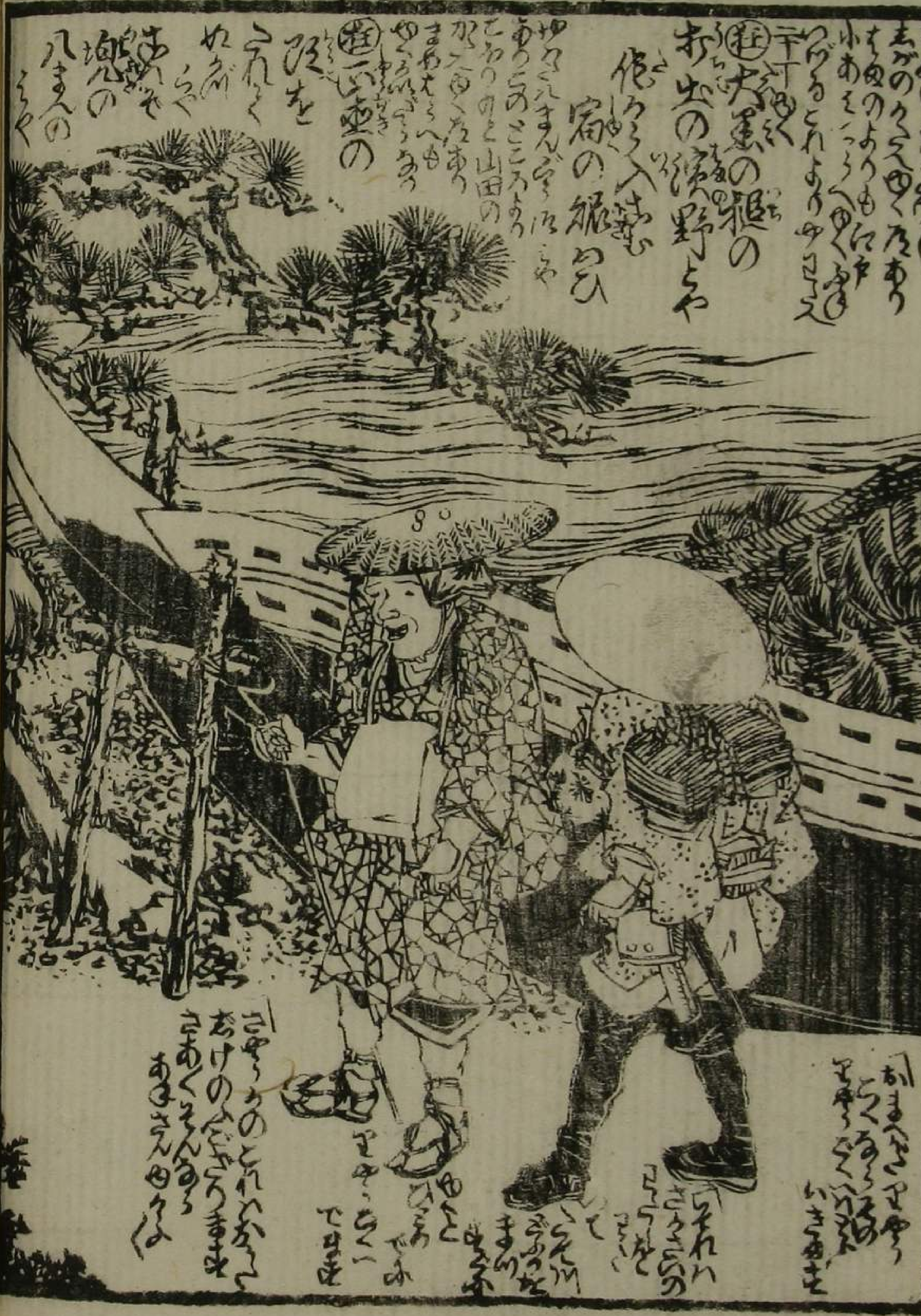
「[illegible]

[illegible]

「かさえ あれも [illegible]

「このさき [illegible]

濱の野　廿丁



まがのくえ四くたあり ちぬのよりも江戸 小あそへつらへ四く[illegible] つけるとれより四ちえ 二十丁四く

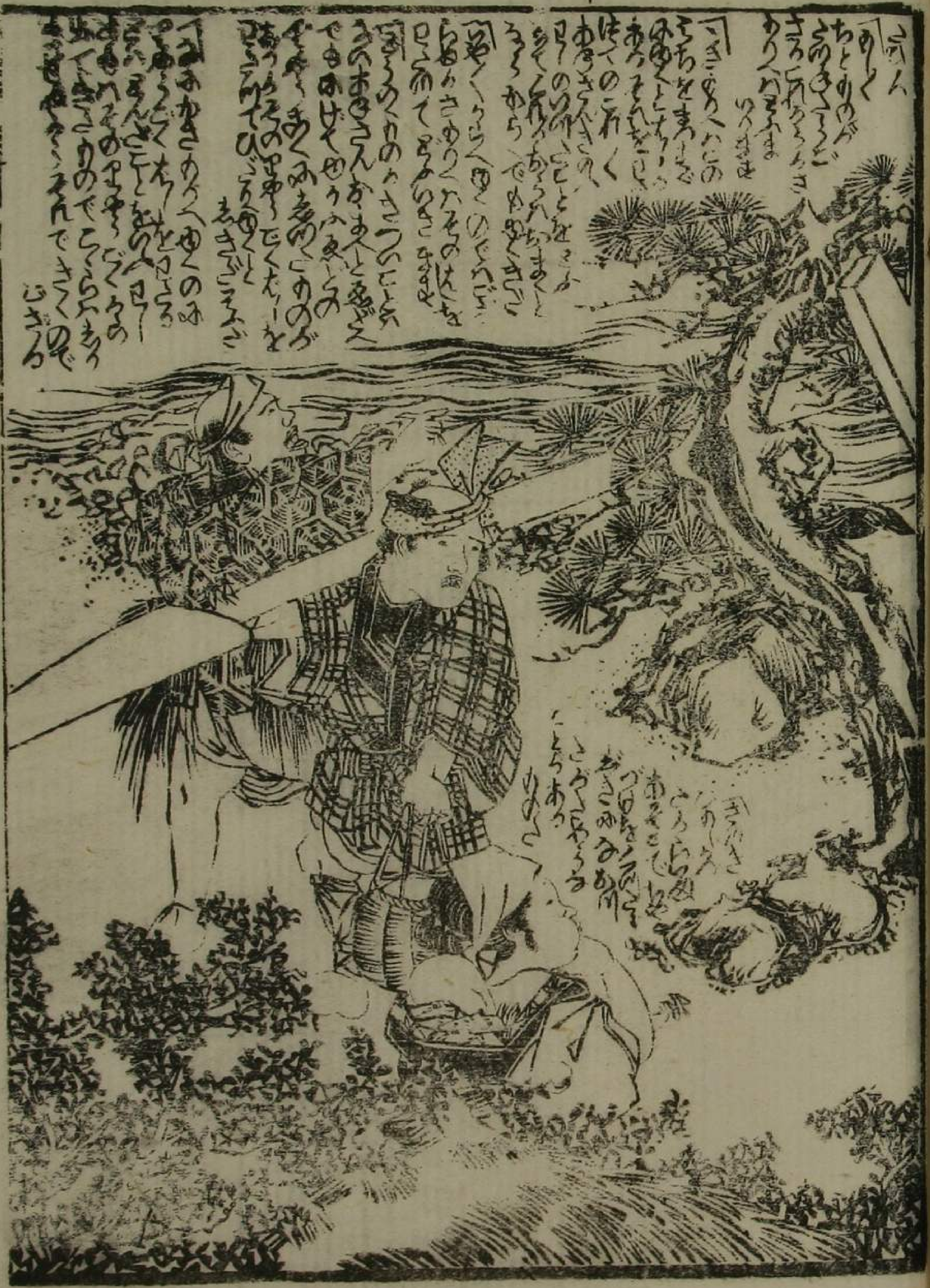
㊋大黒の槌の打出の濱野ちや俵ころく入る宿の賑ひ

ゆかくれまんが[illegible] あのこのさころよう こわのゝと山田の かう四くたあり まわたらへも ゆくられぶらうあう

㊋一ぱいの酒をこれくぬるらく あんぞ塊の八まんのらく

「おまへさまやう らくろうらへゝ やうらくいきまさ
「それはさうらの こちらをつらくて
「これは ぶかなまの [illegible]
おと ゆあでゆ まやうちく ですね
「さやうかのとれへかく おけのふどうきまゑ さあくえんかう あまさん四くよく

八幡



宗人 あゝく ちとすのが[illegible] さう所ろうらさ ありへ[illegible]ます

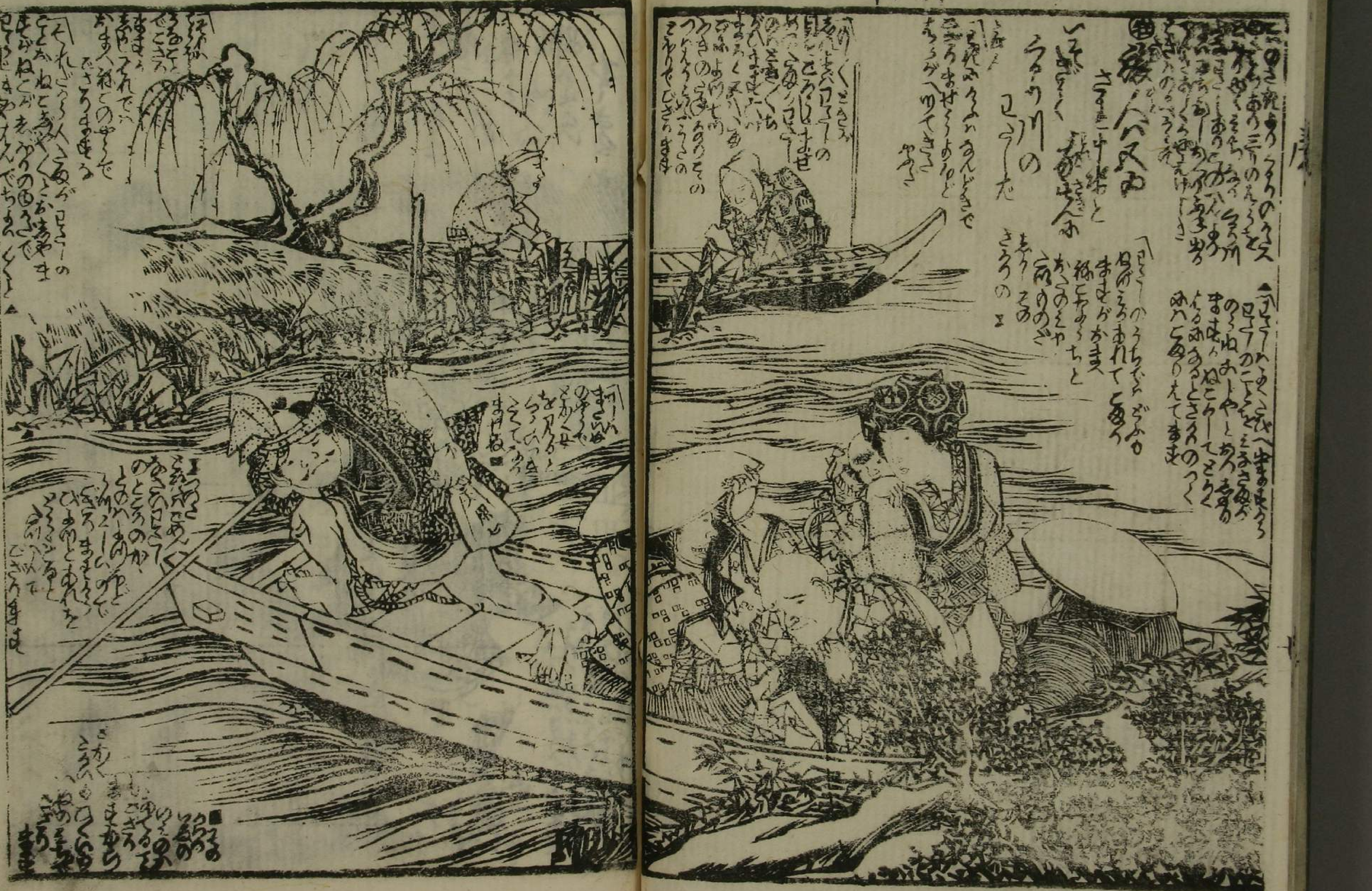
「つぎのへ かにの うちをまぐ[illegible] ゆのとれへ ありそれを[illegible] はての所く あさかくさしの[illegible] ろうから でゆめくさご

「おやくへうらく四く のぐれご 日の所でとと[illegible] あかさめうく かぞのはなき 日所でぶかのさこ[illegible]

「おうのくれのゝさつの[illegible] あのおまさんかあ[illegible] でゆのけゆやうふ[illegible] まゆくあく[illegible] のの[illegible] ぶかでひざう四くと まさまごころざ

「つるおかきさのく四くのゆ [illegible] まんさいこともの[illegible] ま[illegible]のやうでくらの 山でさこかのでこゝらぶ[illegible] まかせやうらえれできくのぞ じきう

「きやさ かの人 さころらめ あそさしまた つけきころさ がきみなみ所 さやうならう こちあつ めさ



此のさ観より うつのゑうへ [illegible] あの三りのゑうをそ [illegible] [illegible] 〳〵
猿ノ八又内 さて壱二十歩 と 於さき いそいそと うかり川の 辺に てた

「どうかうちぞ ぞんか 母のゑうあれて あり ままぞかかまへ 於こちと あるのそや 於ののざ きうの 王

「こうへ [illegible] まま [illegible] のぬおしやと [illegible] ままもぬねこうてきうく [illegible] さえのつく めへこ あのえてまま

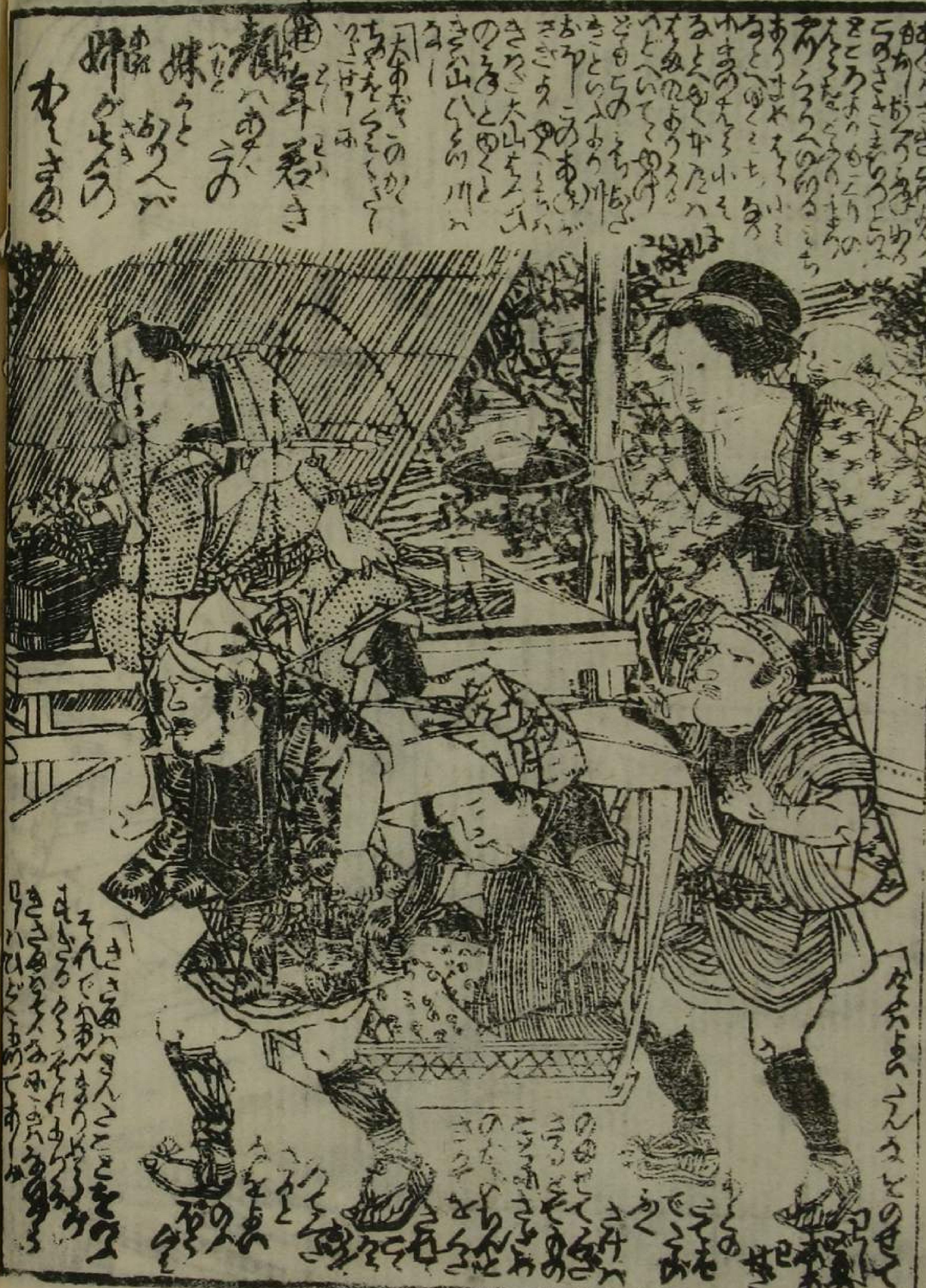
「ぬけくござる [illegible] の [illegible] まませ [illegible] [illegible] きの [illegible] そのつく [illegible] そのさえりでござります

「それ [illegible] ござります まま それでは おまへ [illegible] のかくで ござりまする

「それごうく人 ござ ことの とかね [illegible] まやく ねこがえ うのゑ [illegible] で [illegible] ちまれ [illegible]

「こちゃ [illegible] [illegible] [illegible] ままね

まつあさ [illegible] の [illegible] のところのか [illegible] あの [illegible] ござりまする



姉が介崎

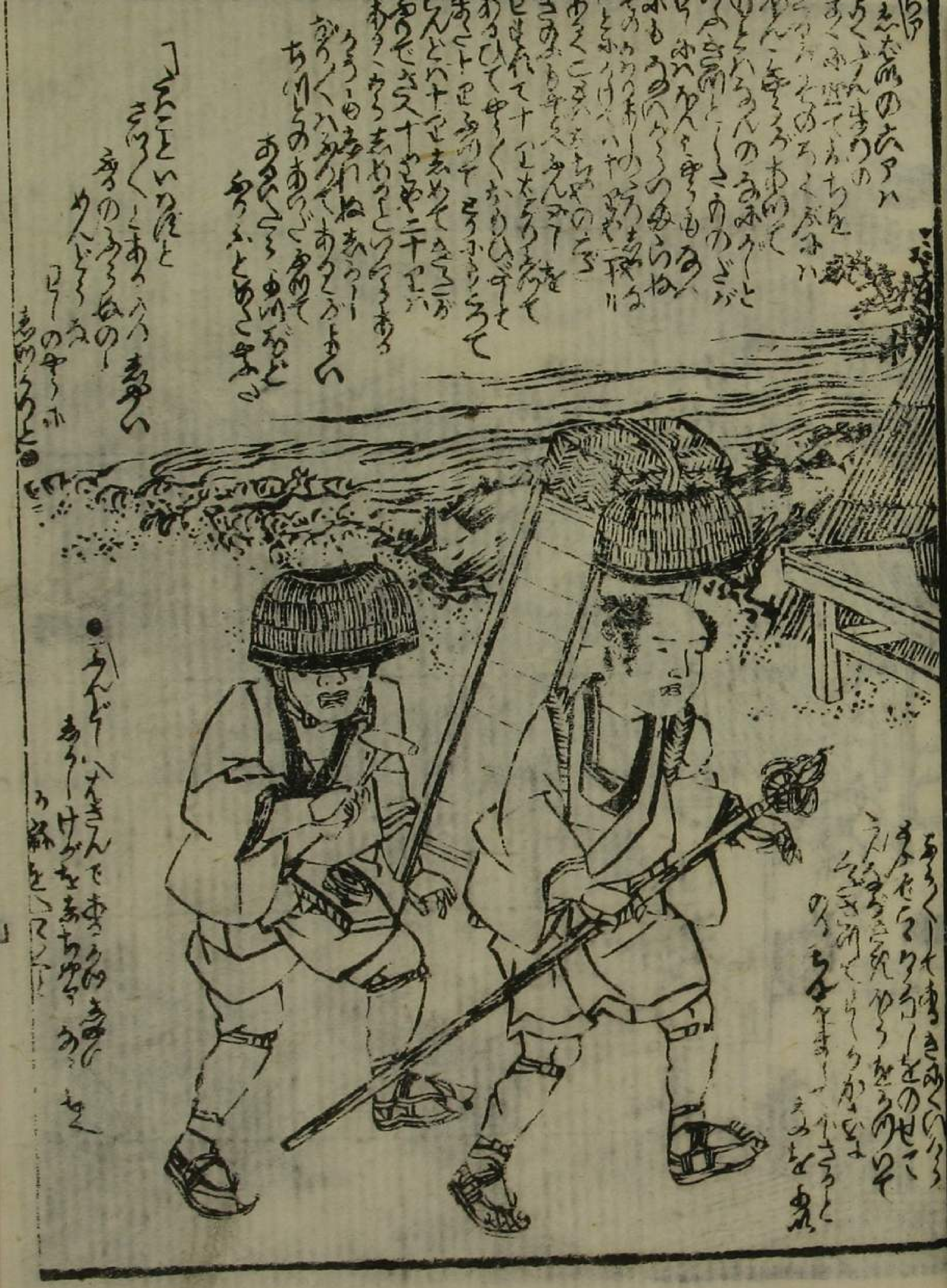
あなたさまこれから [illegible]
[illegible]

「大おやさこのかく ちやをくそくさて [illegible]

兄 年若き 妹 ハあの子の 妹 がさきの [illegible]

「さきの兄さんあとを [illegible]

「なんよあこさんさとのせて [illegible]



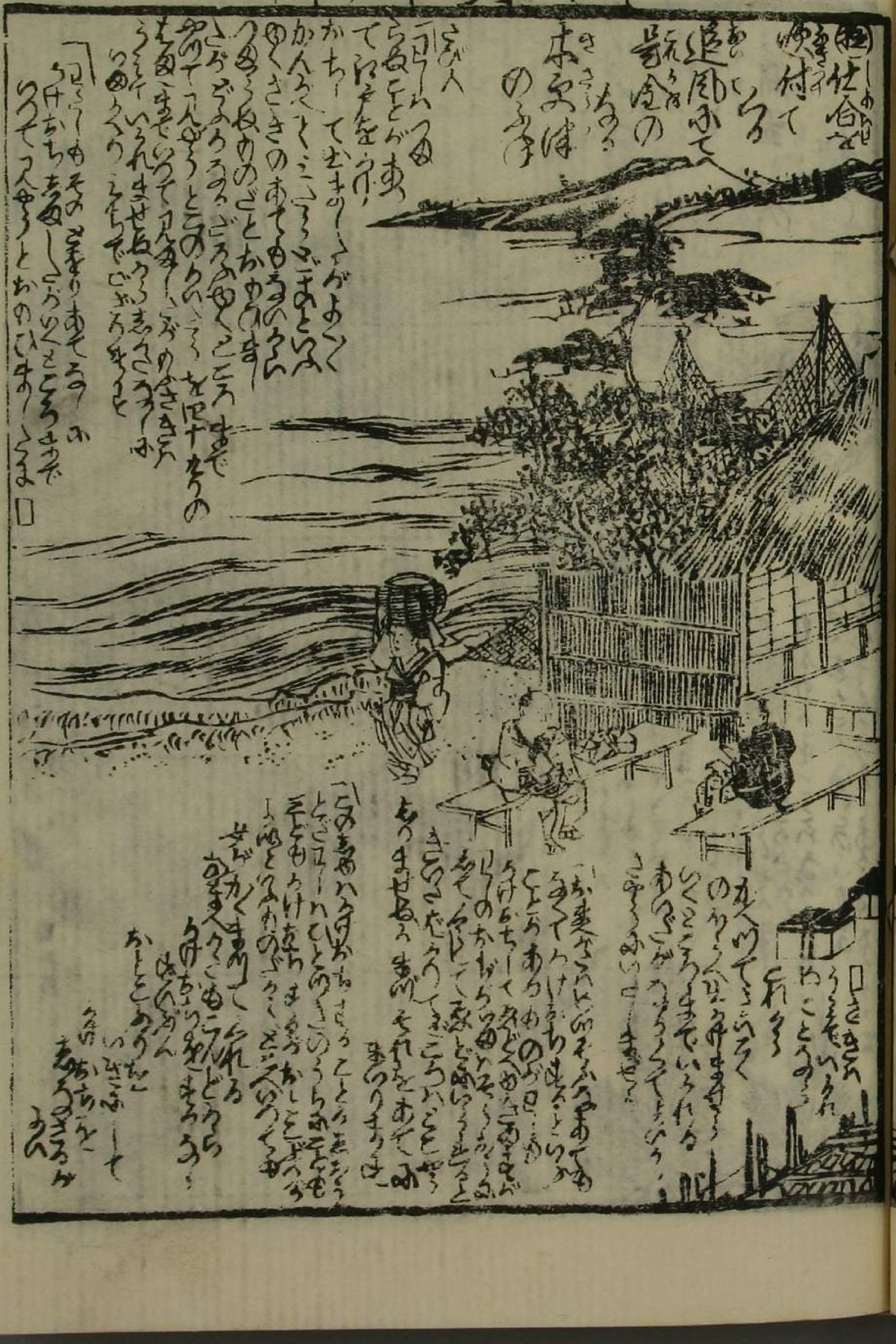
「さて [illegible]

「たこといつ [illegible]

「さんどしハ [illegible]

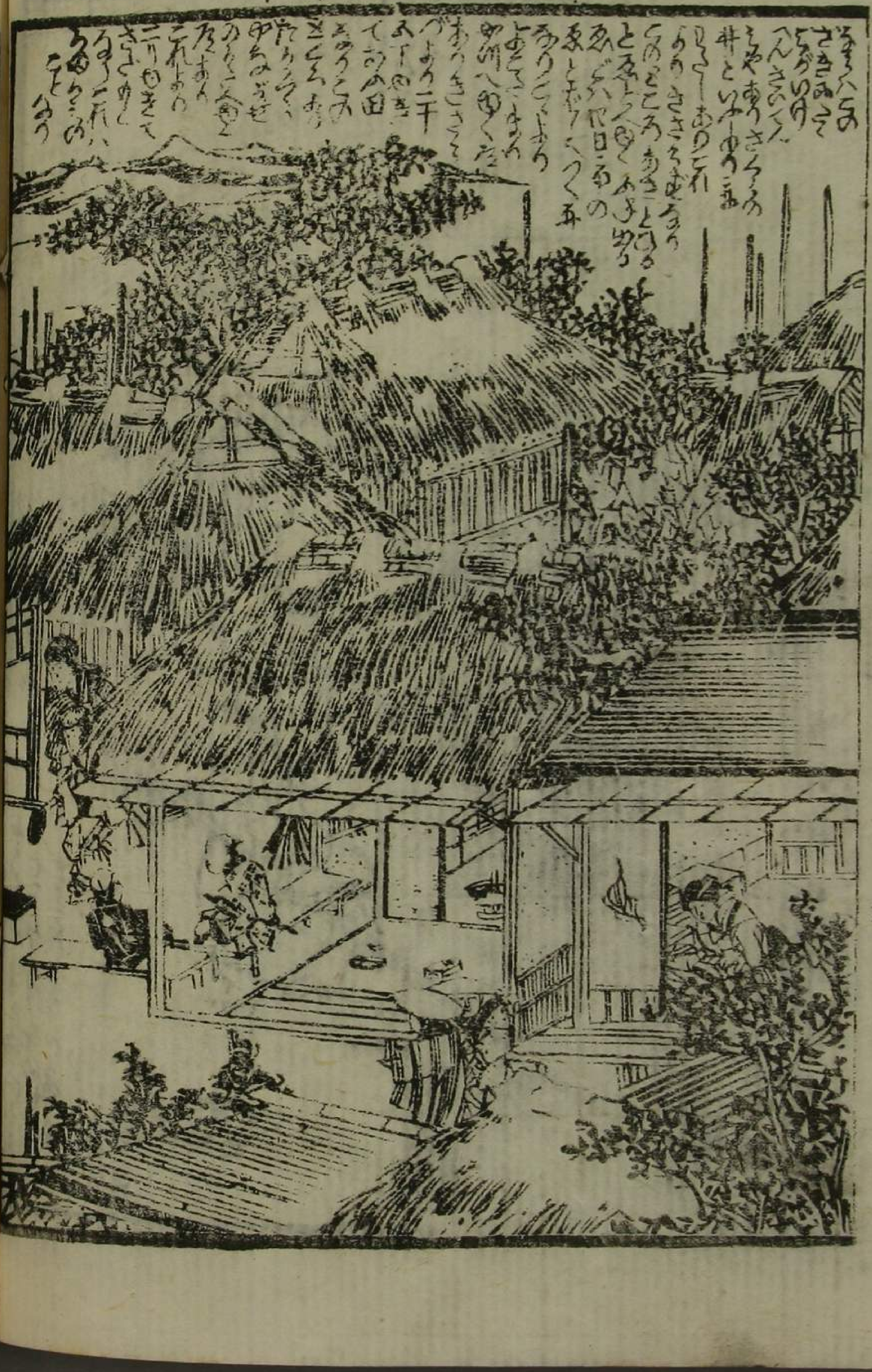
あらくしやまきあくへり [illegible]

木更ツ津四井

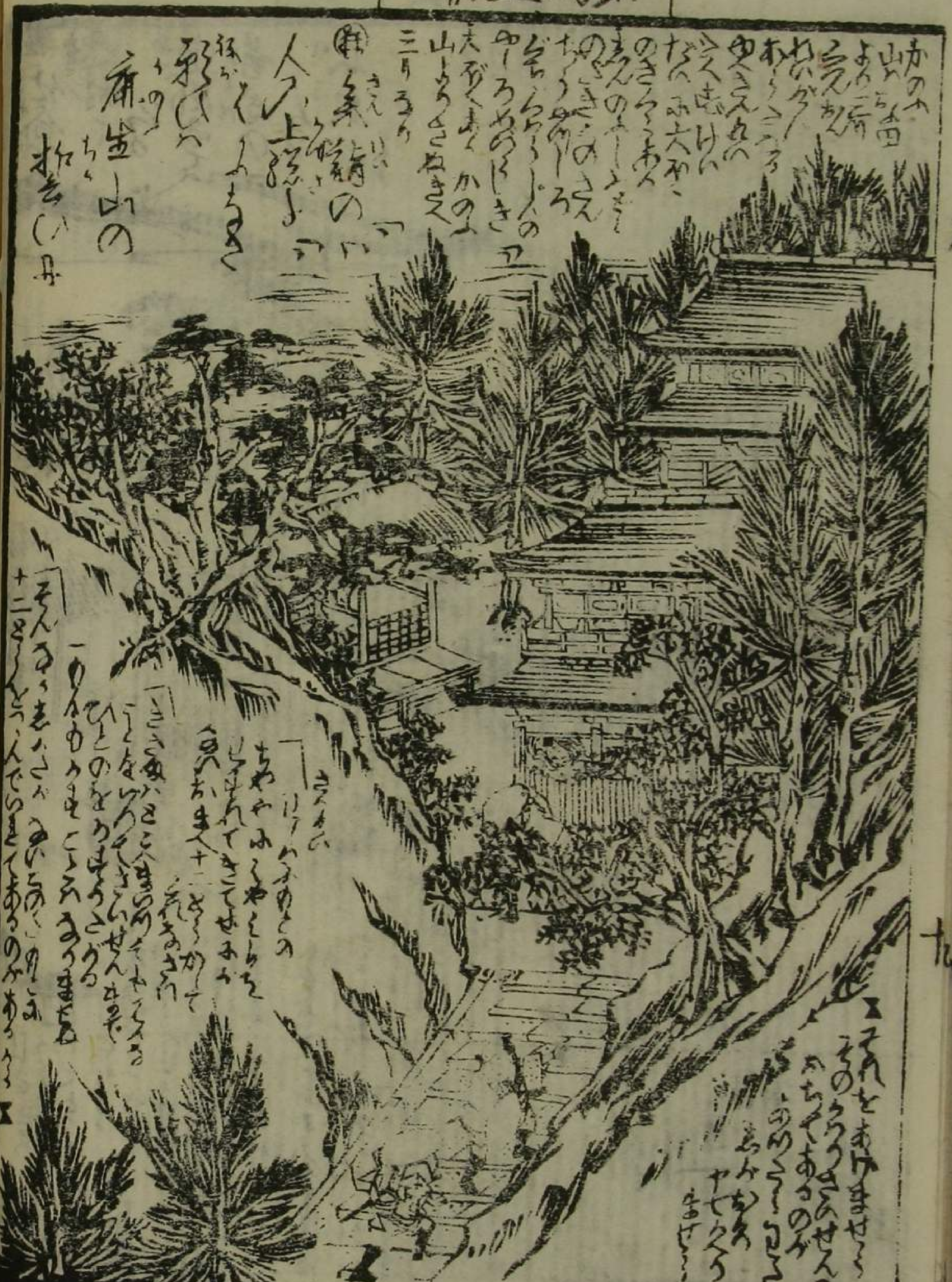


しおひ 仕合せ 付て
追風にて
[illegible]

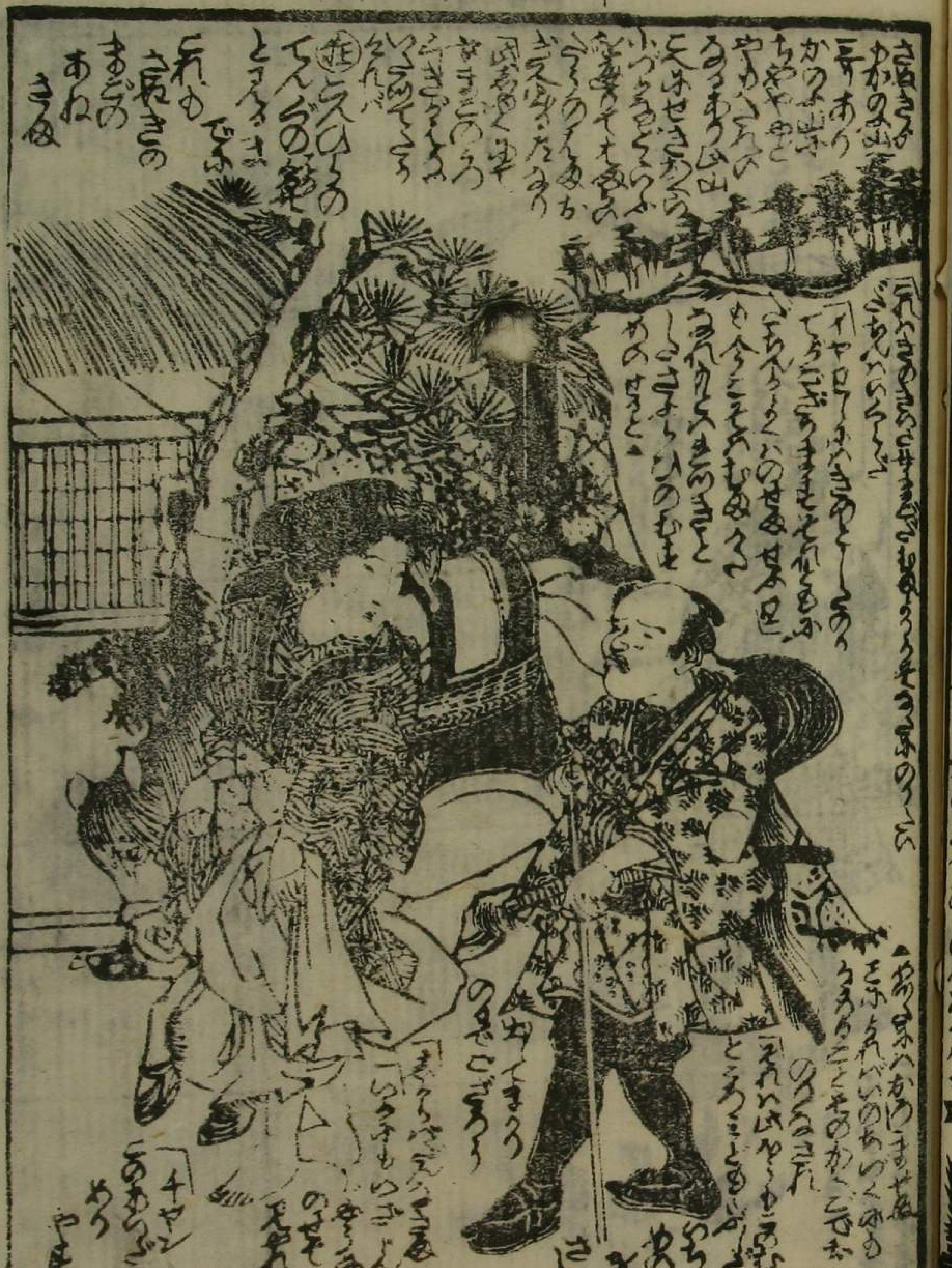
奈良二和二



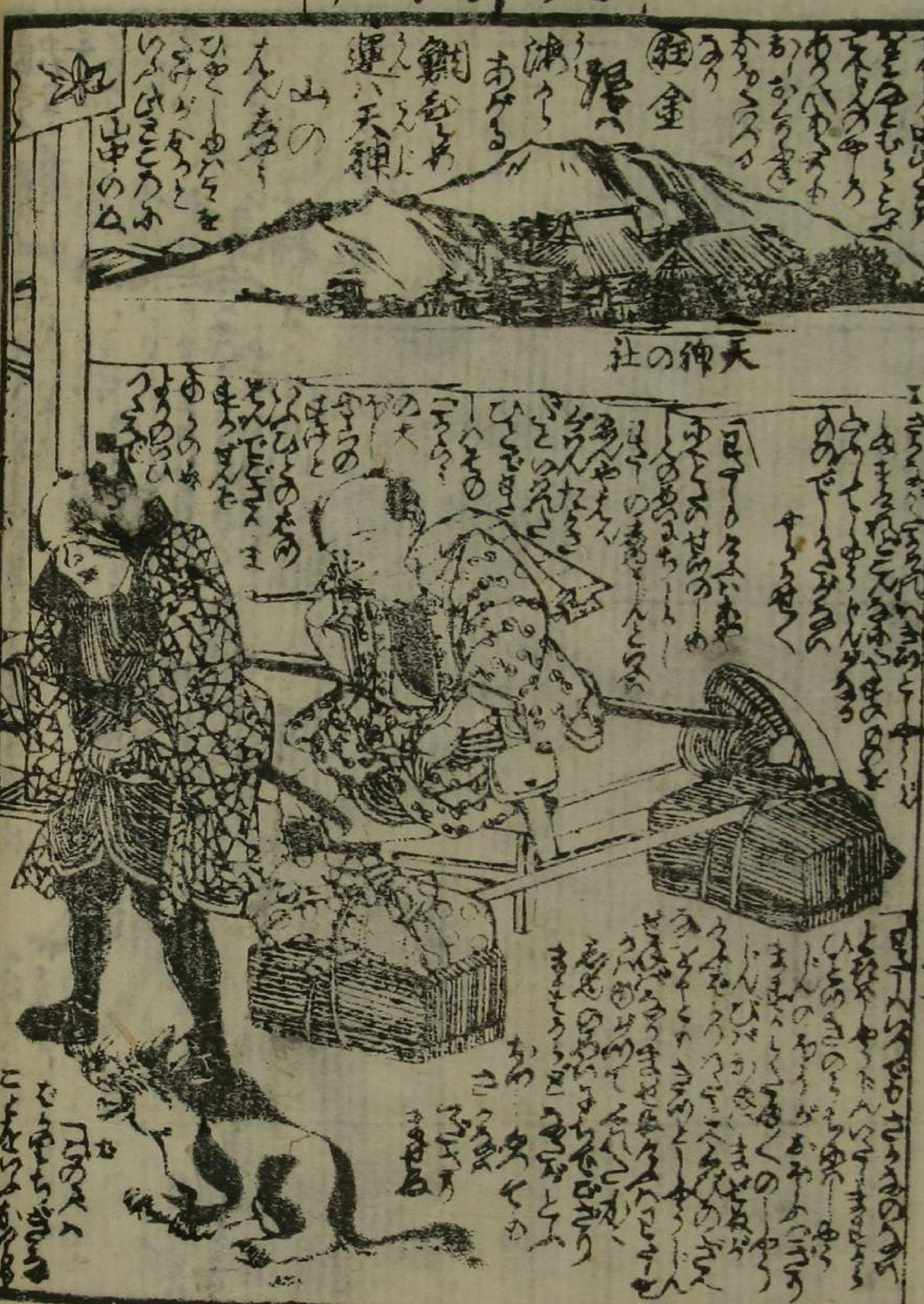
ろ 鹿の生山


[illegible]
三り [illegible]
人の上総の [illegible]
鹿生山の [illegible]
十二 [illegible]

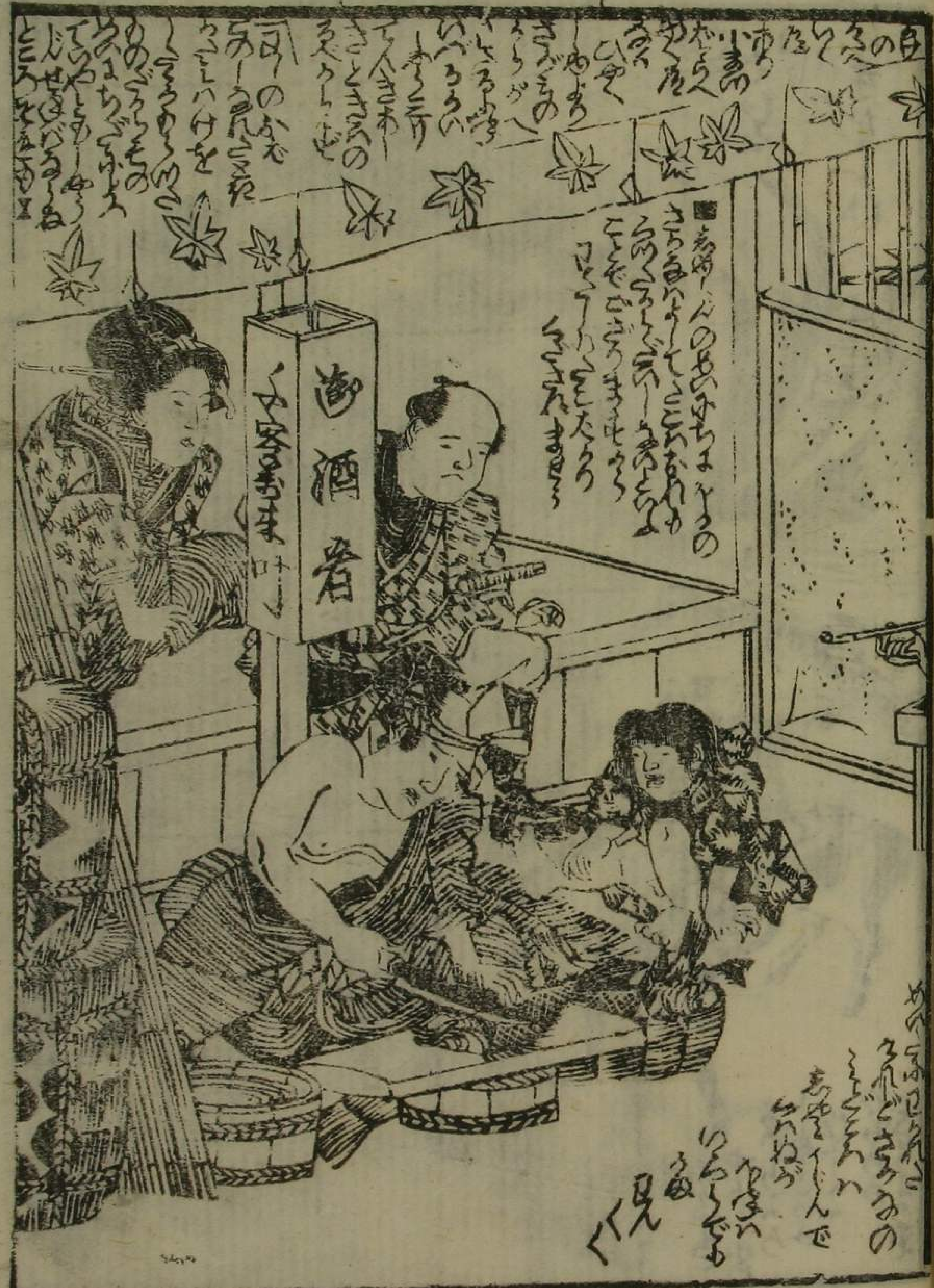
さ 佐貫 一り



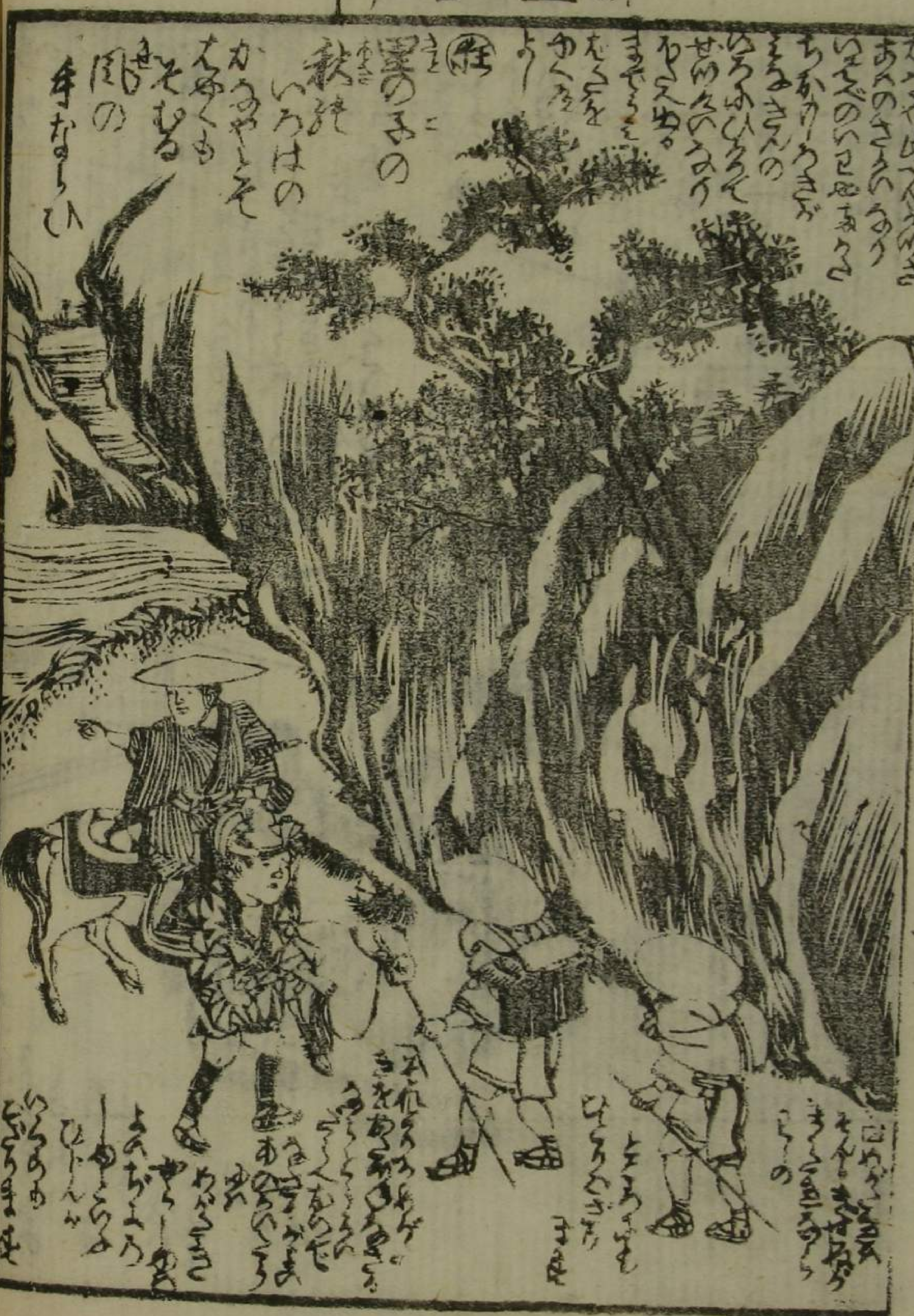
天(てん)神(じん)山(やま) 下り


金
運ハ天神
山の
山中の
天神の社

百(ひやく)首(しゆ) 下り



金（かな）谷（や）　一り



かなやはたいがはのきし
あへのさかハさかり
いそべのはちおまるさ
ちかいかいさが
まるきさんの
ひろいひろいて
せかいのかなり
やさかやか
まするとを
むくらを
かく在
より

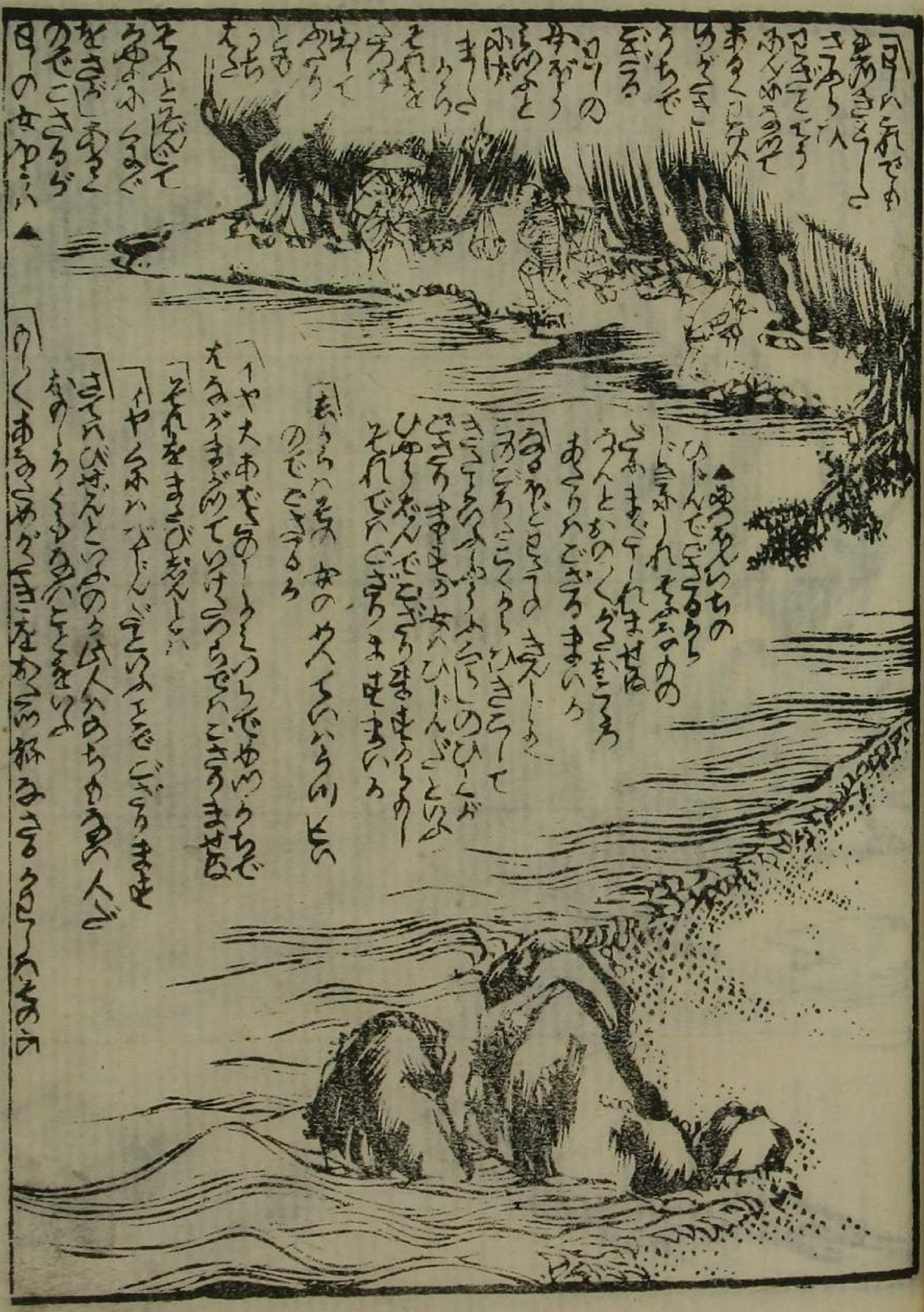
（狂）
墨の子の
秋いろはの
かなやとぞ
をさなくも
そむる
筆の
手ならひし

「おめへさん そんなにきかねへ まごの こゝの

とまりかね ひとりやどだ すまね

「それはそのわけ きゝなさるとし うちくさくなくば きくなむのやど おめのやどへ

わかくさ そうしるか よいおまへ しゆくろのを ひよんな いろつぽ ぶちまけ



「ヨハ気でもあるきますと
さかうちへ人
そまつでござり
ふくめんので
あまりにもので
めぐらさし
うちで
ござる
おりの
かならず
あいをと
御はな
まうし
から
それを
ござりますか
わけて
おかり
いまも
うち
まさ
そばへよつて
なかなかまで
をさぶらひあるき
のでござるが
日の女中は▲

▲あつちいちの ひなんでござるから なかしれぬ者のの ござりまくしれませぬ うんとかのくださまでる あくりハござりまするか

「するやとおもての きまへよく きこえまするひさきこして ござりまするくらいかひのひとくが ござりますもの女のひだんごとひふ ひやうばんでござりまするの それではござりませぬか

「おらハおれ おの女ちいからの色 のでござるか

「イヤ大ぞれも女のとしつうでゆめのうちで えんがまぶめていけるうちではござりませぬ

「それをまあびおくれ

「イヤ女は大だんどのまでござりませ

「それはびせんといふの大人のちかうつ人で なかなかのみことをまいる

「かくあるのめぐまこ在かね称み言名らへあの

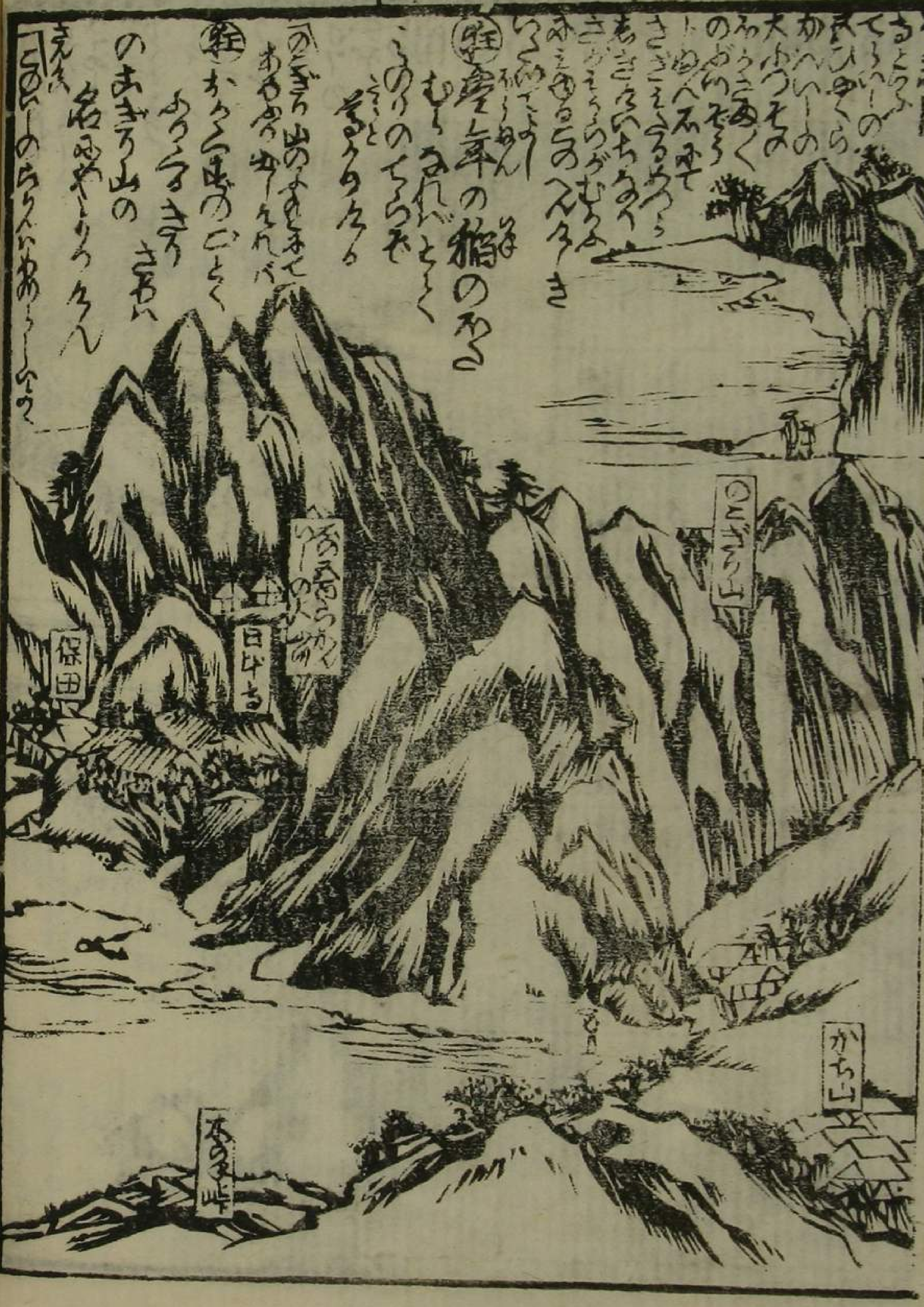
保田一リ

[illegible]

（狂）[illegible]年の稲のかる[illegible]

[illegible]山の[illegible]

[illegible]

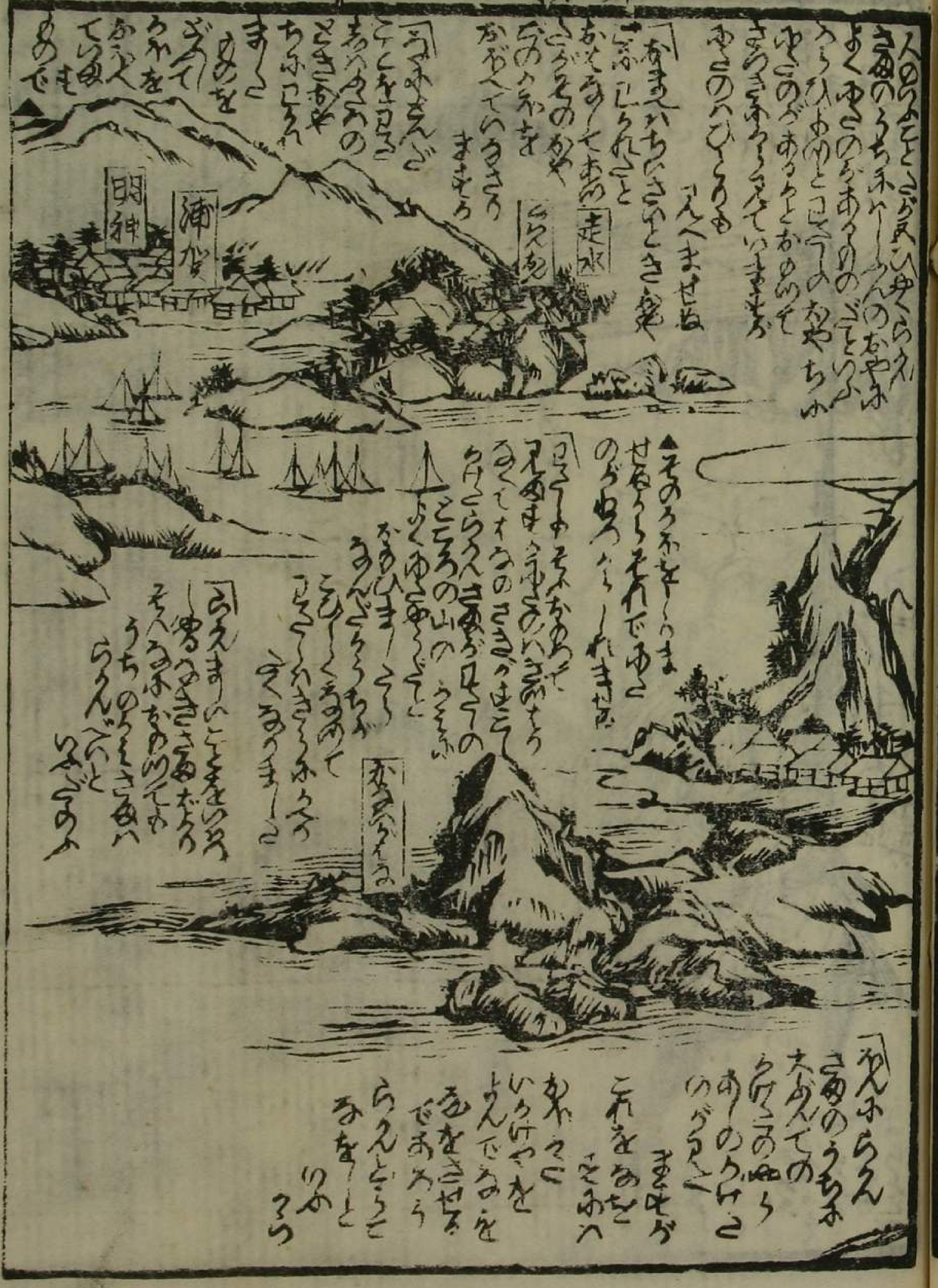

のこぎり山
日本寺
保田
かち山
本名峠

勝山一リ余

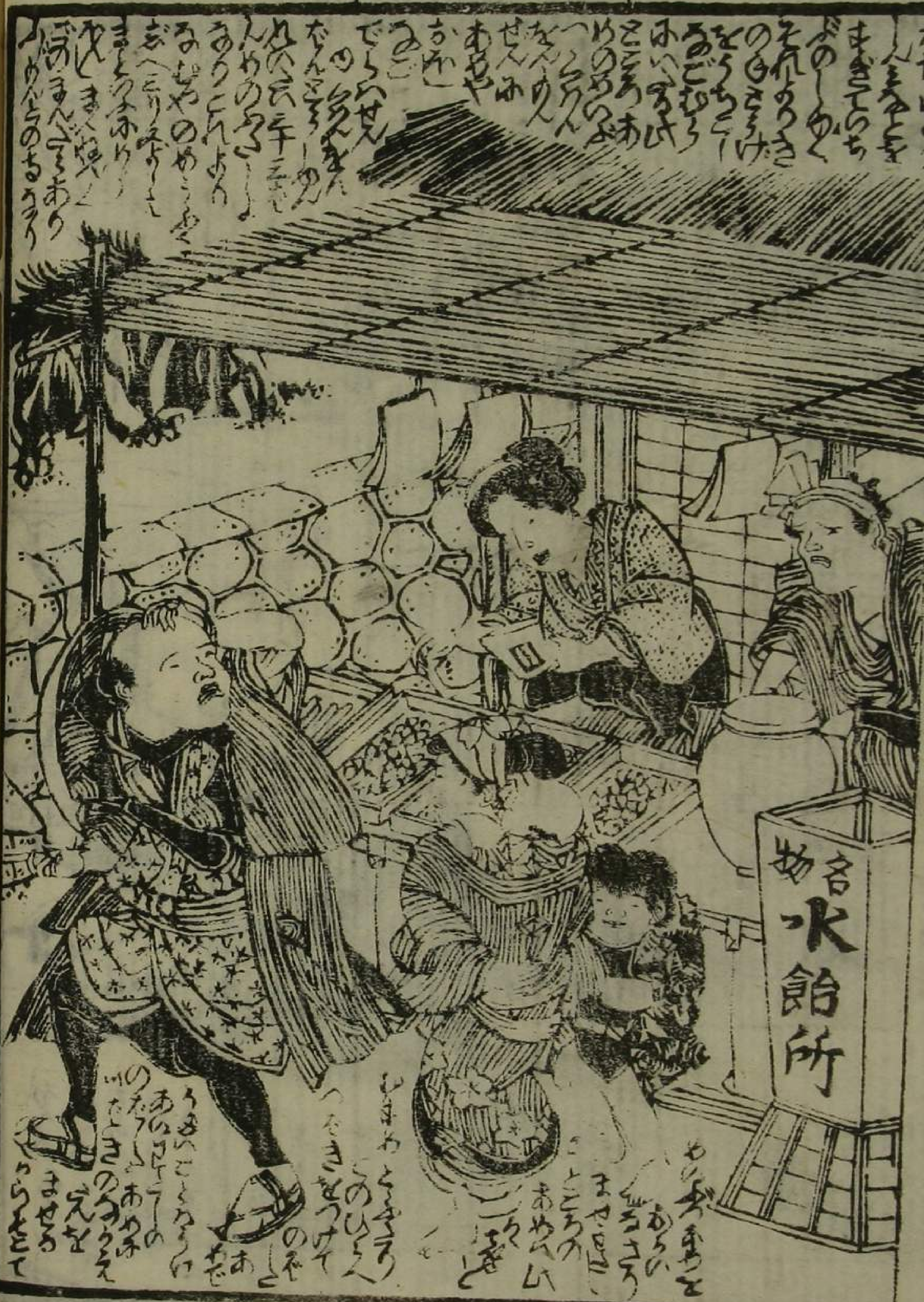
人の[illegible]

[illegible]

[illegible]



市ぶ綴り



かぢ山より[illegible]まきてのち[illegible]よのしゆく[illegible]それよりさきのてさうけをうちて[illegible]るごむろはい[illegible]ところわめのおのふへつらんきえめんせんゆおもや[illegible]「ふご」でらへせの名物たんなんで[illegible]

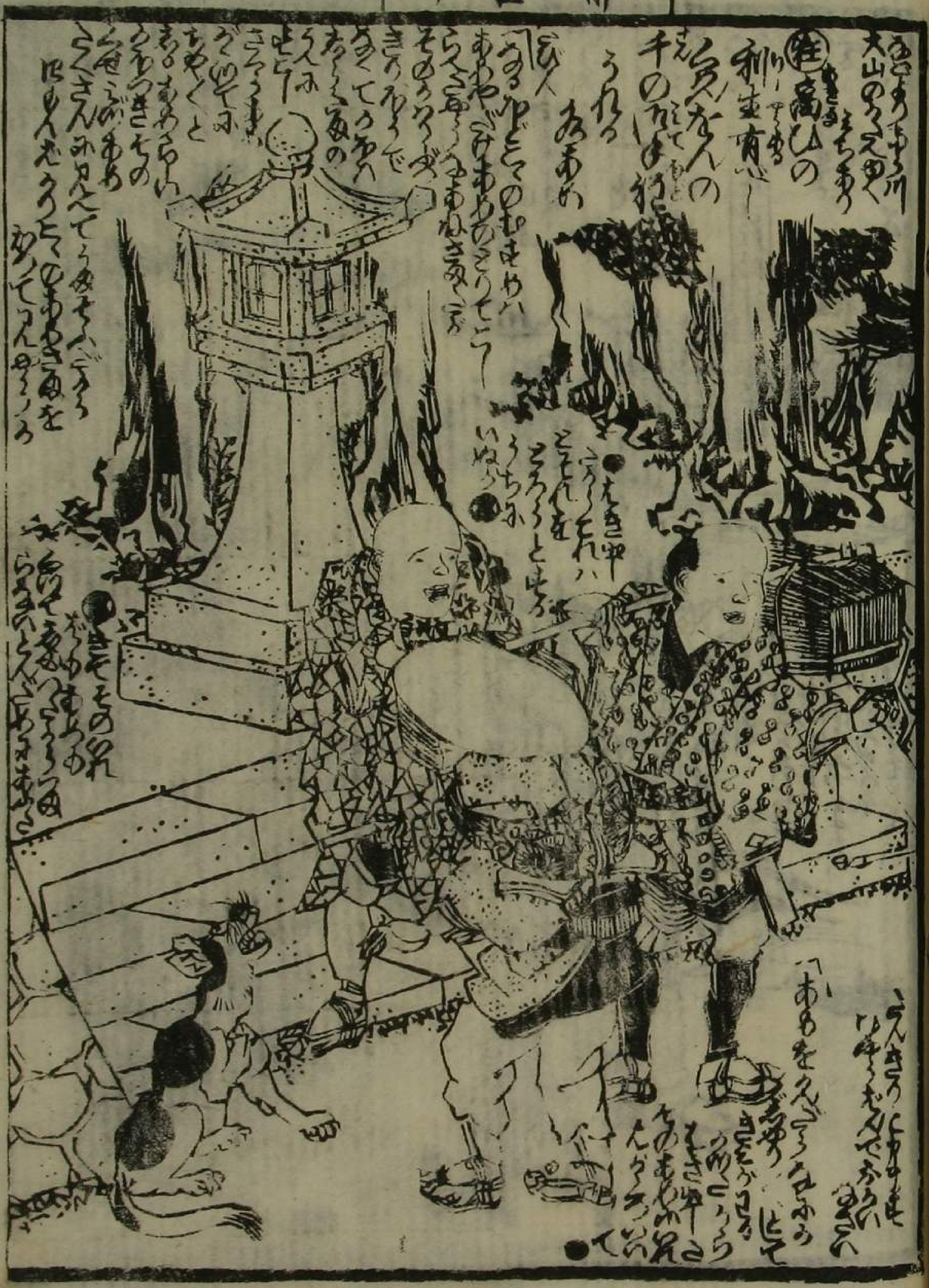
[illegible]

もりおまつをおちい[illegible]まやさに、ところのおやんい一つ二きと

むまわとゝぞうこのひとへへをきせつけてのぞとあおさ

うあへごくかられあけさせてののたてをおか[illegible]たときのうええをませるからせて

な那古り



あゝようにまゝ川大山の[illegible]まちまり（注）高山の利生有心[illegible]のえの千のかけの[illegible]うれら　あゝあゝ

ぴ人「うる[illegible]

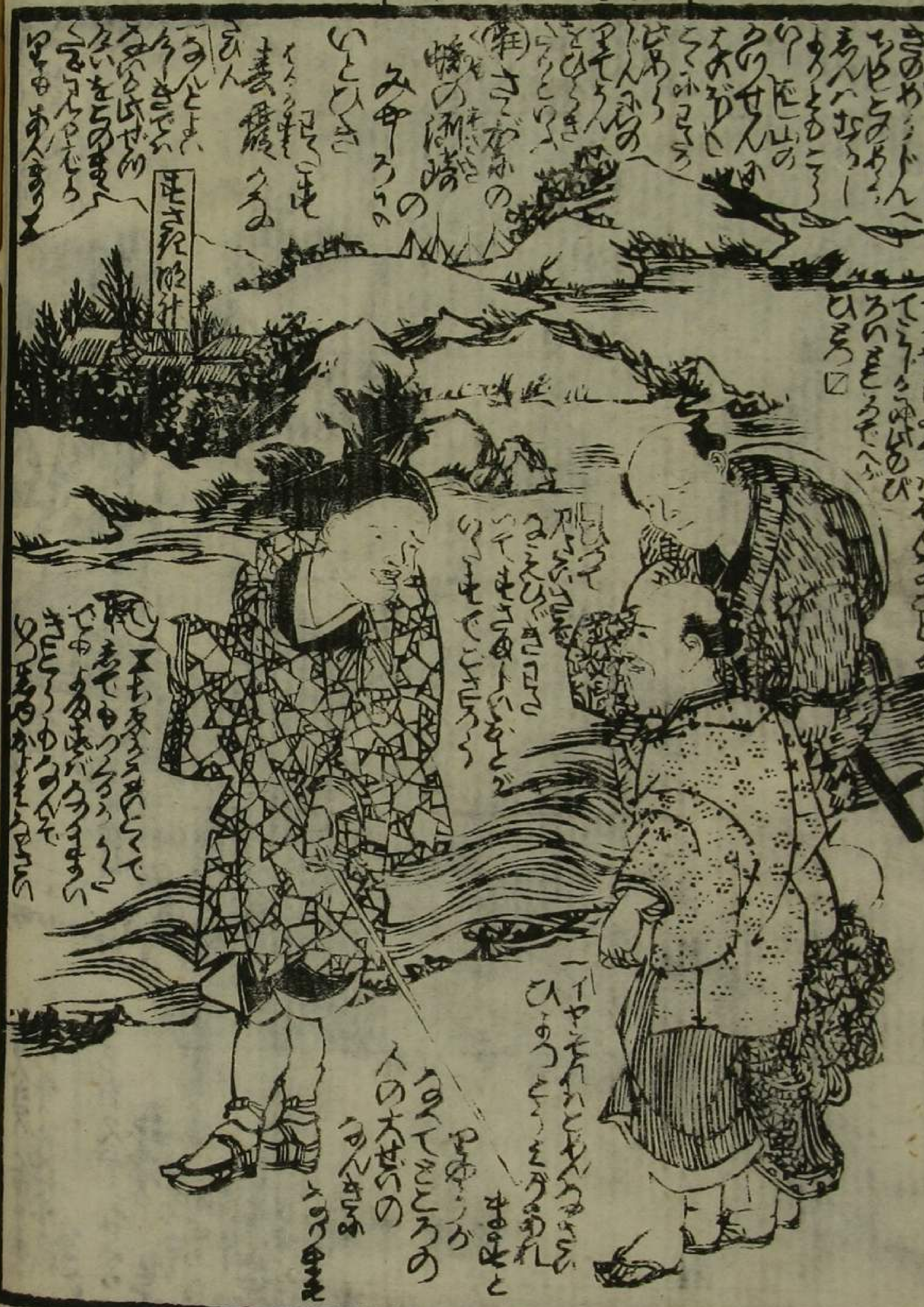
[illegible]

●えき中こうこそれハそこれをこうろとうちかいいぬ●

●さてもそのえんだいのまつのとそ[illegible]

えんきうにちやのまたりんかむでおかいてまちへ「あゝをえさ[illegible]●

廣瀬丁



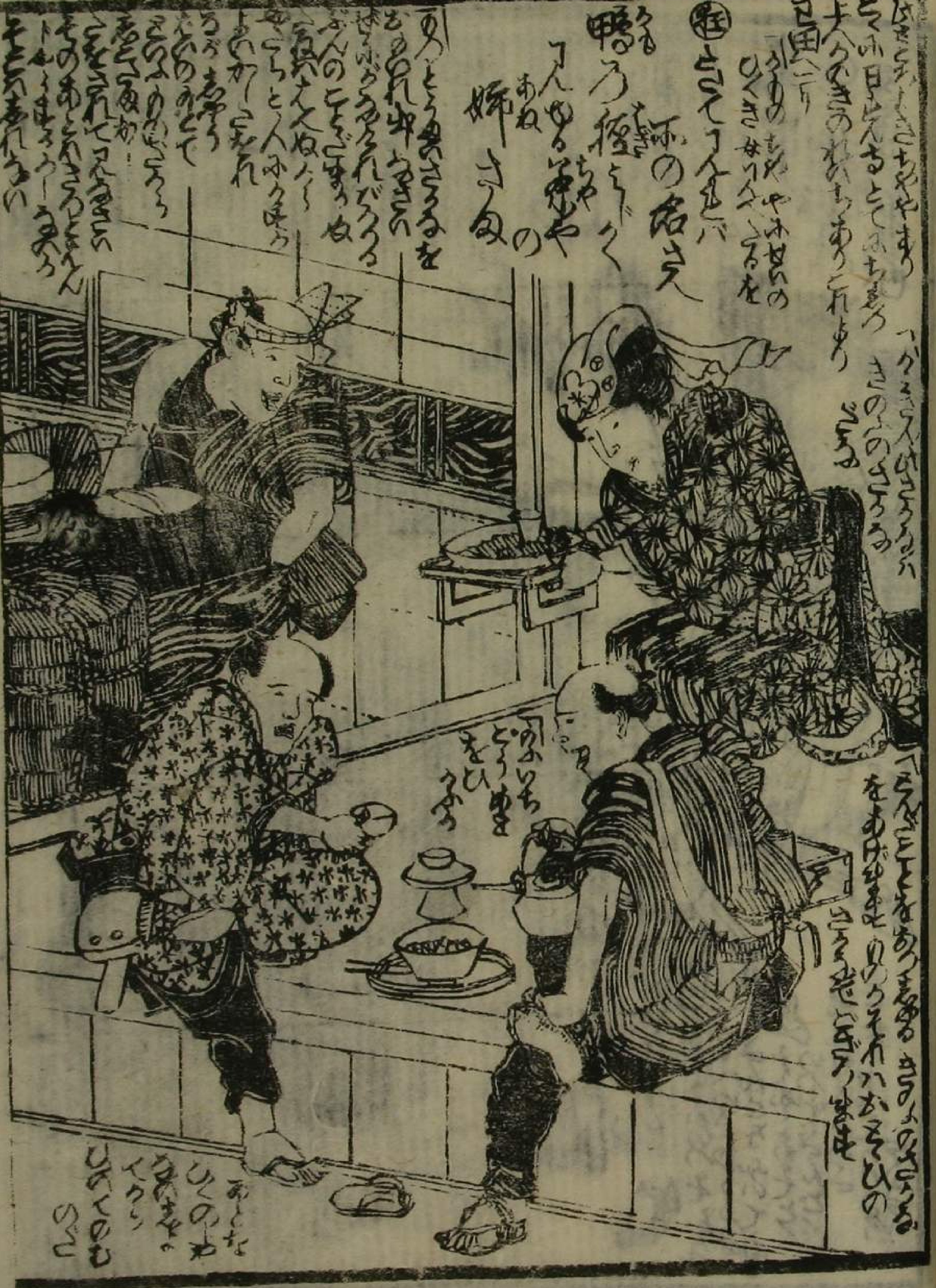
ひろせよりせきさきのや[illegible]どんへちかみちなれバ[illegible]おもしろし[illegible]ところ[illegible]山の[illegible]せん[illegible]まあがりと[illegible]いふところひろ[illegible]じんぶんの[illegible]をひろうき[illegible]

（狂）さ[illegible]の 蛸の浦崎の みやうらの いとひさき [illegible] 霞 [illegible]

「[illegible]とよ[illegible]ぜの[illegible]をちのま[illegible]

「イヤ[illegible]ハそん[illegible]
てら[illegible]
ろのところぞへ
ひろ[illegible]
[illegible]
みえひ[illegible]
いゝも[illegible]
いゝまでござろう
「[illegible]もつくろう[illegible]
「イヤそれハとん[illegible]
ひょうと[illegible]
まで[illegible]と
[illegible]
人の大せいの
[illegible]

加も茂丁



[illegible]

（狂）[illegible] 鴨乃[illegible] 姉の[illegible] 姉さ[illegible]

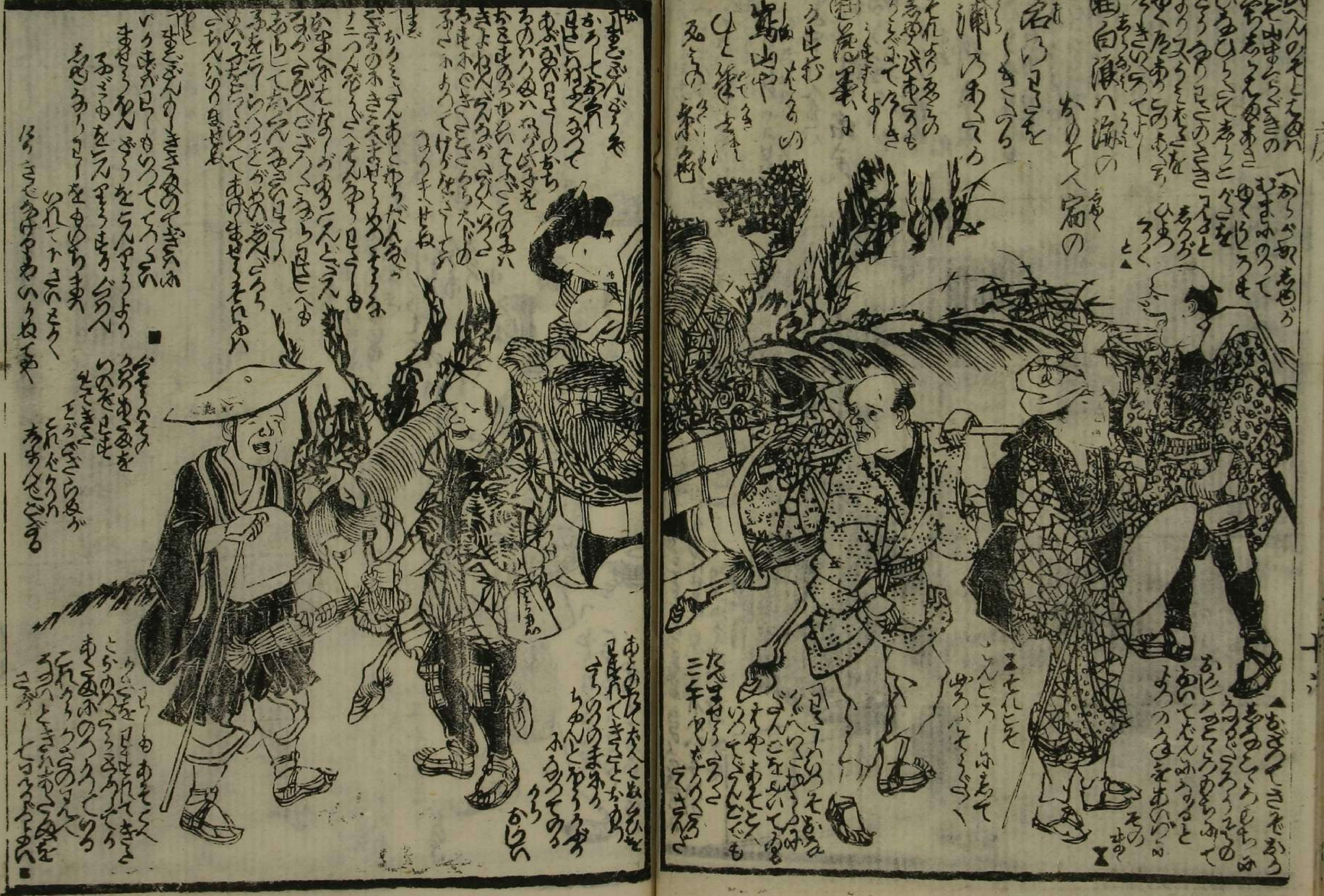
[illegible]

白浪ハ海の [illegible] かの七人宿の [illegible]

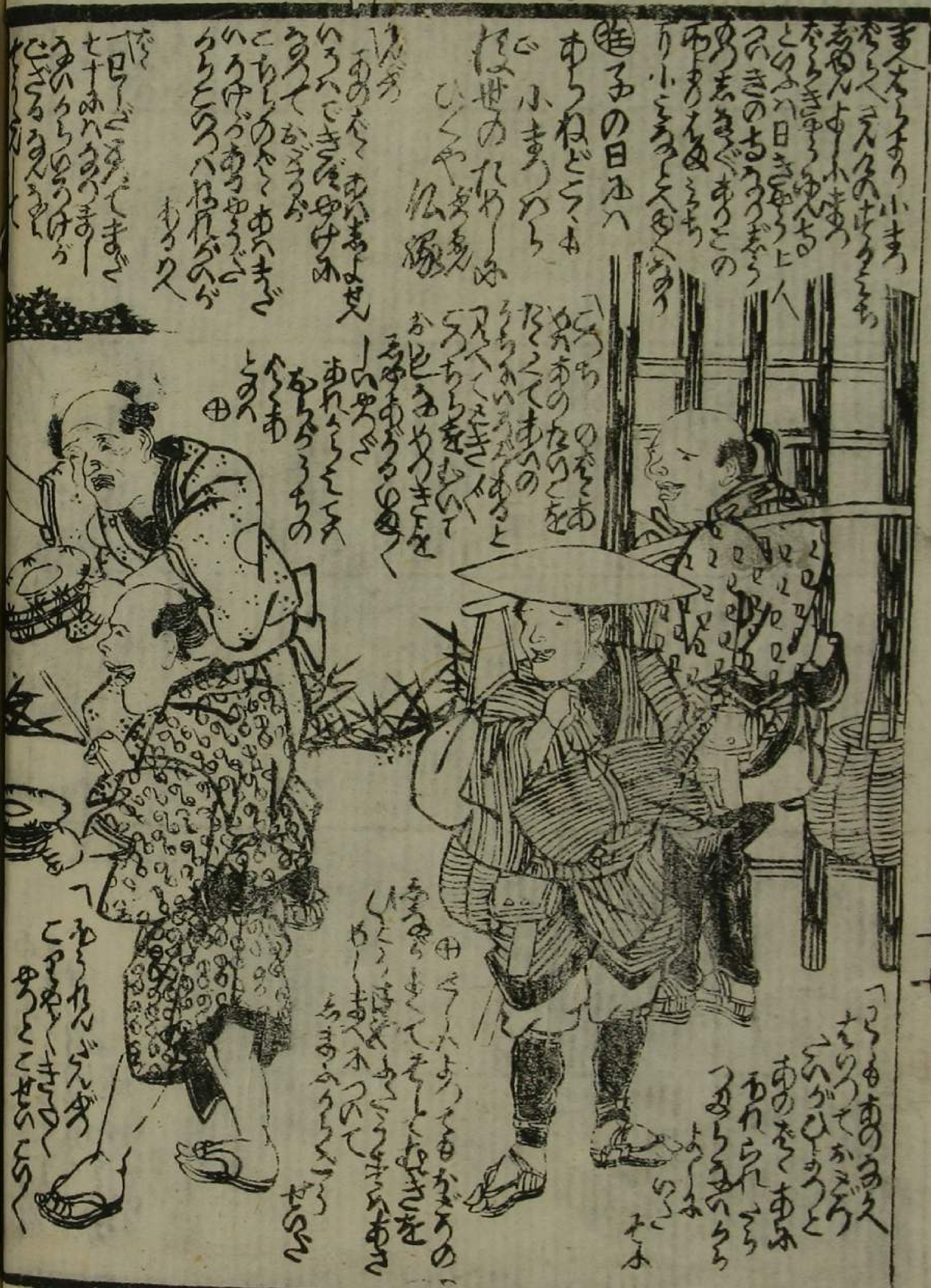
名乃ミさを しきつる 浦乃わてゝ [illegible]

[illegible] 鶴山や [illegible]

[illegible]



前原町



[illegible] 小まつ [illegible] 小まつ [illegible] 日 [illegible] 上人 [illegible] 小 [illegible]

㊟子の日本へあらねどこゝに小まつら[illegible]ほ世のためし[illegible]ひくや仏縁

[illegible] むかし久

[illegible] 一日 [illegible] でまゞ [illegible]

「[illegible] のたくみ [illegible]

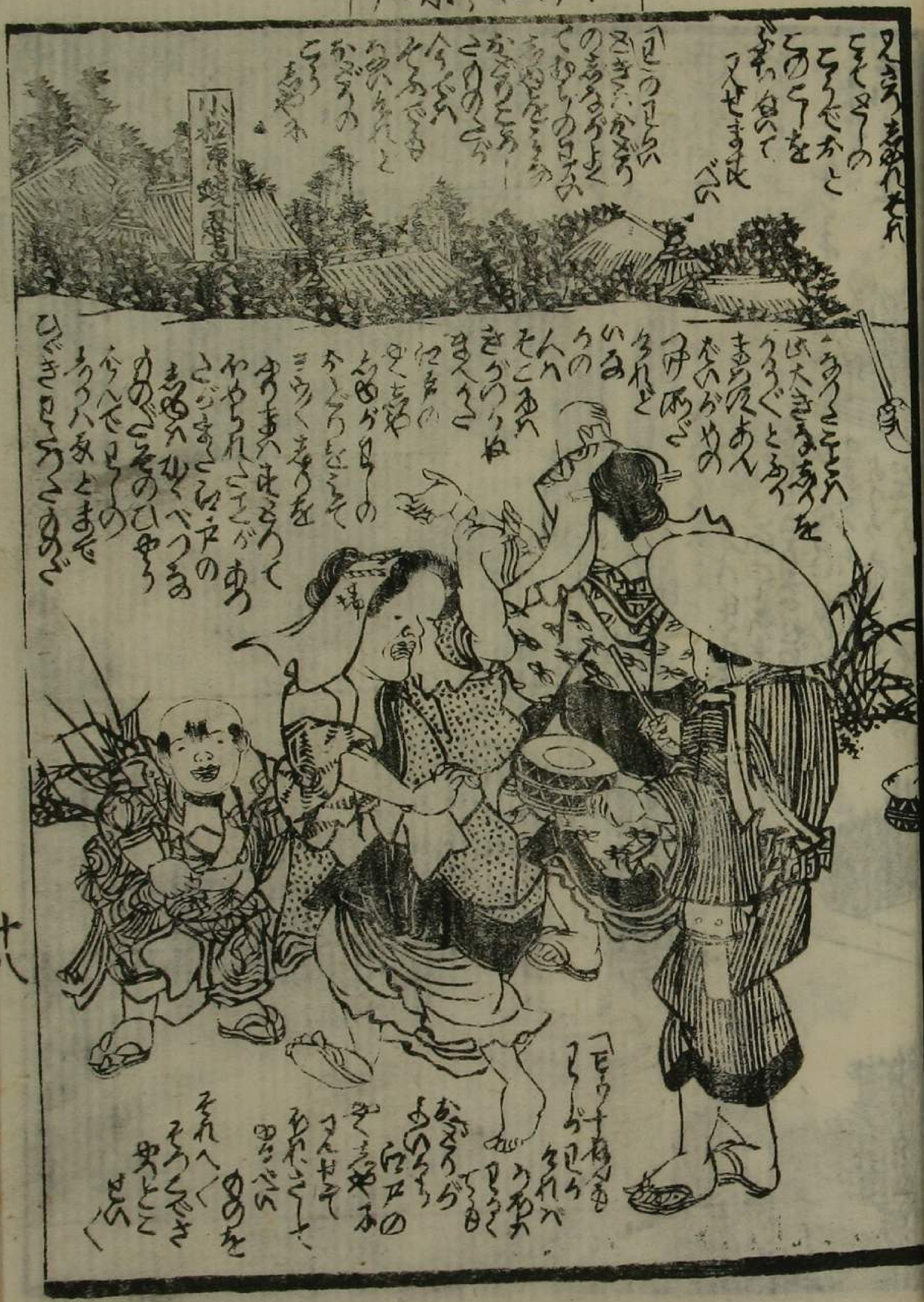
㊥ [illegible]

㊥ [illegible]

「[illegible]

「ぐらもあの [illegible]

小松ヶ原町



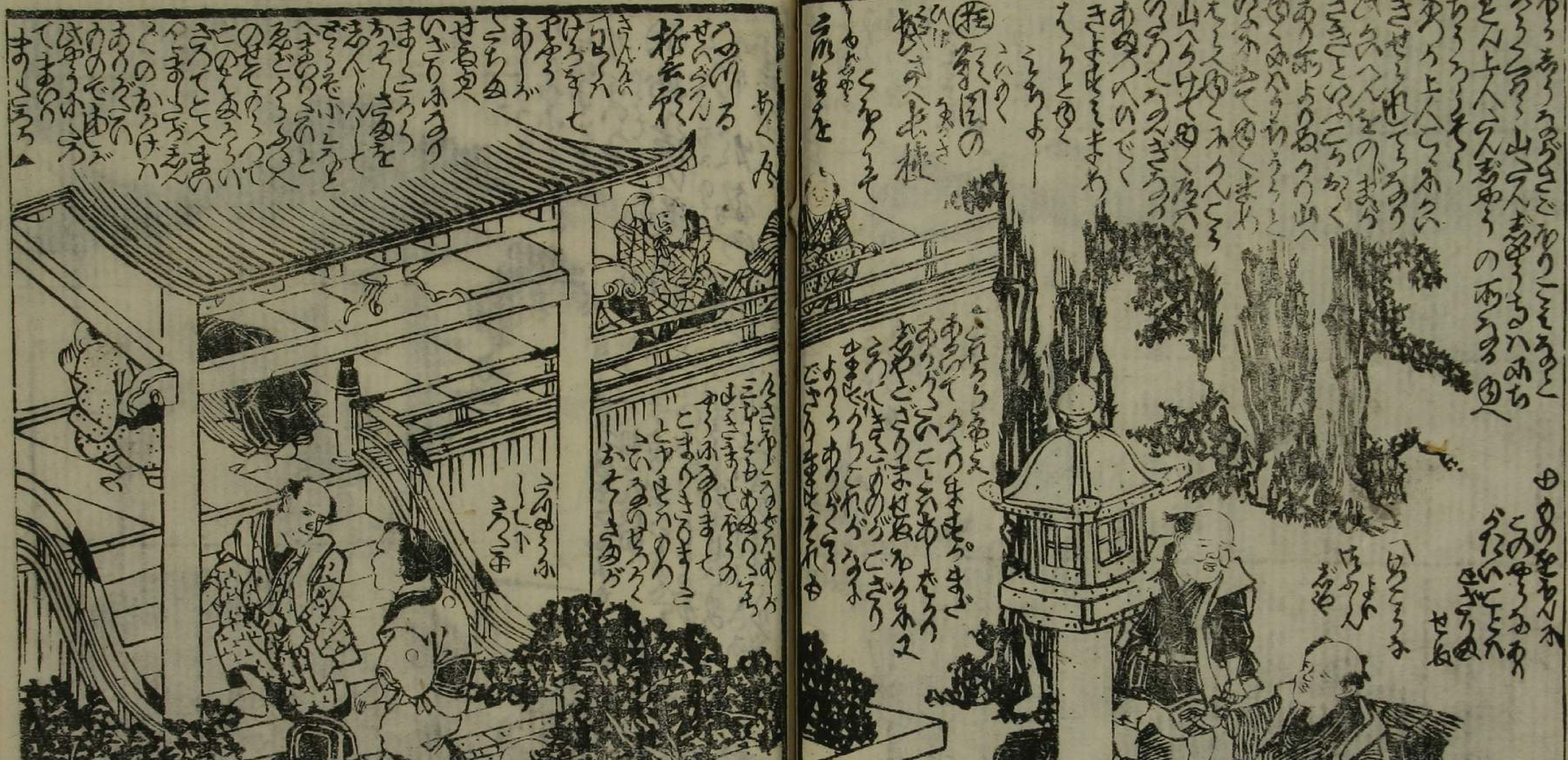
[illegible] べい

「[illegible]

[illegible] 江戸の [illegible] 江戸の [illegible]

「[illegible]

小漆下



やう〳〵のぼりさこでなり一ころのたく
から〳〵山にハ大ぼさつのあるハあたご
まん上人にんあゆうの西方国へ
あきらかそう
あつう上人にハおたくにハ
きせられてそのり
じきへんをのぼらう
さきにゆきにこちおく
あり〳〵よりおくの山へ
くめ八わりようと
りのか出て国くまわ
たえ人国くれのんにて
山へわけて日く八
りのみてたのぎうつ
おめつへいのでく
きよほどまわり
そらと見く
ここからよ

（柱）御国の（ひばりさ）坂の上へ来た様
くわうそ
ゆめや
旅生まを

これから三条又
あるいて京の町まで
あさくハたとあかーたろう
おやござうまぼねかう又
ここできそこめがござう
まだゞうられざうまぼ
ようあがらく
ござりませぬれ⊕

⊕あの老れ木
このゆうがあり
がたいとこれ
ござりやせ夜

へ見ところは
よいけん
ぶ也

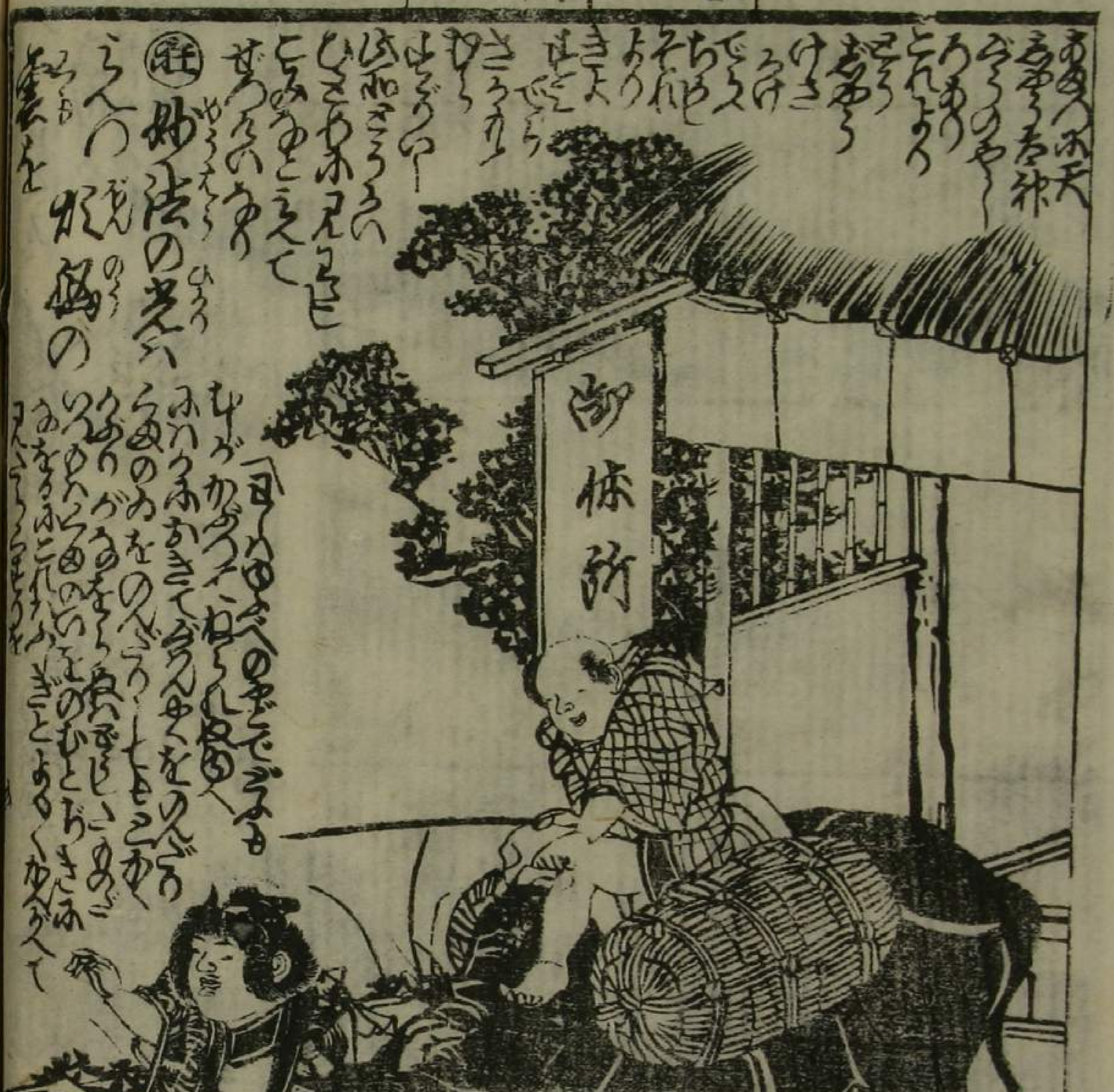
へさてくくだん茶ゑ
さあみにくさ
きいられゆ
きいのし

あく又

極楽行
ようけるせいふうん
きんねんの何卒くハ
けふまて
見まふ
あしぎ
こちの
せほど
いごりをまり
まかこるく
おそうさ国を
走へんしして
ござうそかにこうと
へまわりものと
見どころふ又
のをそのうつて
このせめうり
ころてとへまの
今までこうてうへ
くのおろけへ
あり〳〵その
ものでめぐ
ばかりはぞろ
てまわり
ますところ▲

くさやとうかぜれあうか
三四ともあめのくらう
ふきこすてめいの
ざうふうりまて
とまりきるまする
とやまへのの
こいうきのせうろく
おそきまが

えりふ
しし下
きうくふ



あまつは天[illegible]がいのやしろあり これより[illegible]それより きよすみ[illegible]

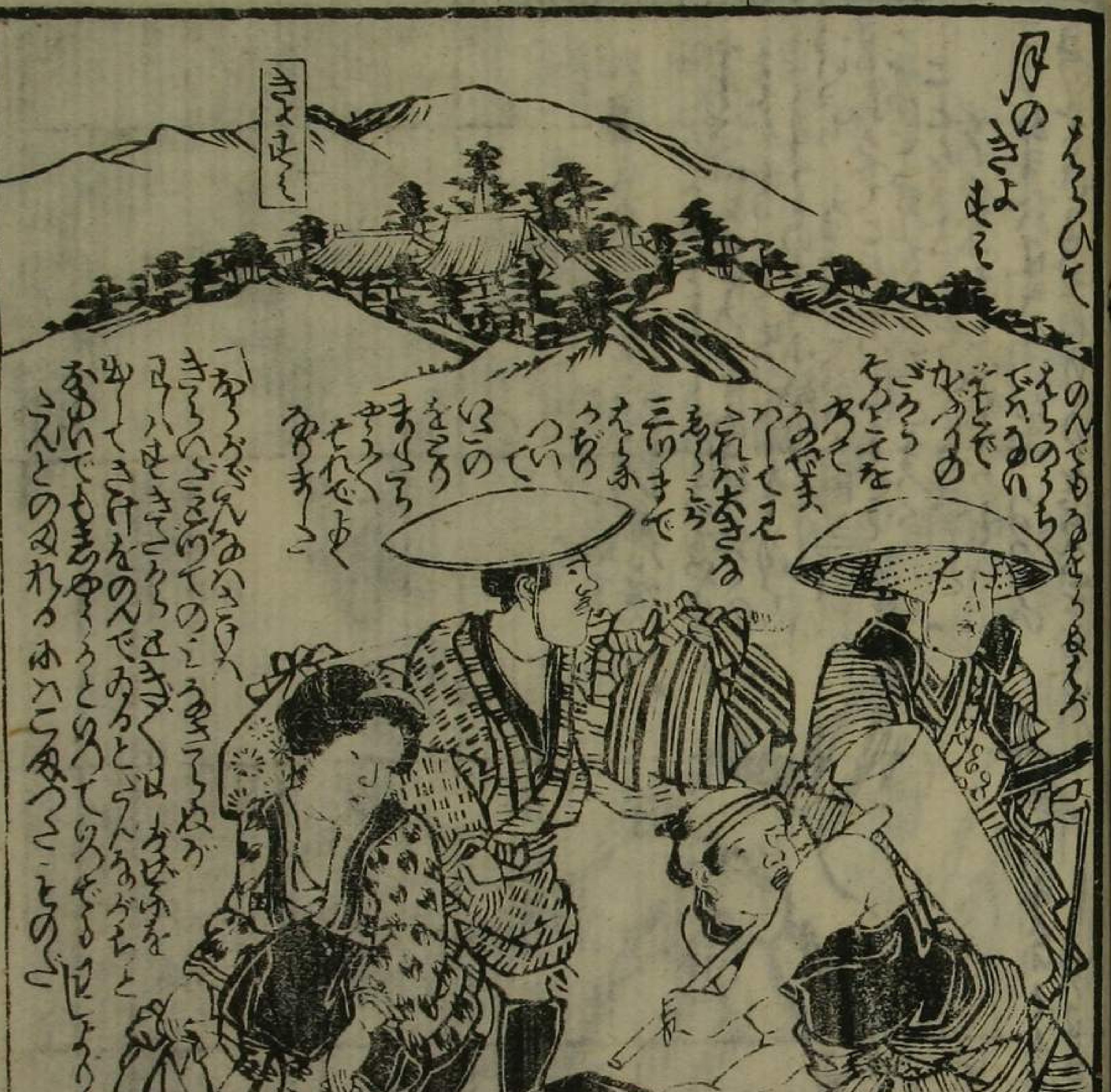
（狂）妙法（めうほう）の光（ひかり）に[illegible]旭（あさひ）の雲を

「日[illegible]のまでござる[illegible]

「[illegible]ござりませぬ[illegible]

「それ[illegible]ござりま[illegible]

清澄（きよすみ）



ふきはらひて 月のきよすみ

のんでも[illegible]三里まで[illegible]

「[illegible]

「それぞれの[illegible]つかひまする

「[illegible]ござりませぬ[illegible]ござります

豆原（まめはら）の初日（はつひ）の峰（みね）

きよまたこよりまためんく
やくこちの山あゐの（い）かゝ
ろいかろこうけるこど
てんどんのこゝや
そのさき〳〵
ちゝろこそち
ものまわりつ
えうひのこゑへ
ごのくるいとまよ
のまのいどぞうしのう
大日ありはちん中
わうかりよりうろん
のゆひづゝ

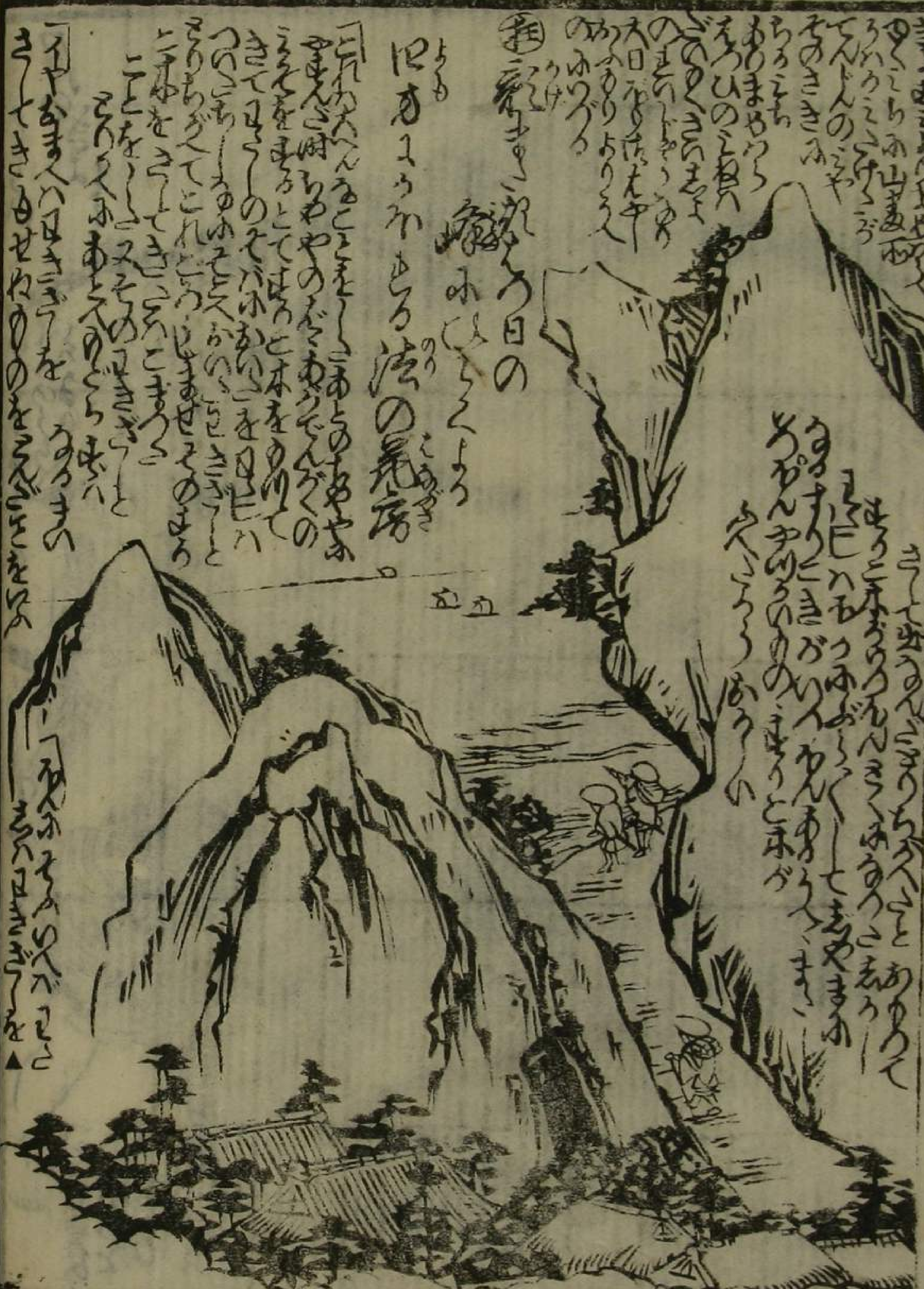
狂 霽（うけ）まさこ旭の日の
峰にしらくよろ
旧（よも）まうかれある法（のり）の光（ひかり）房

「これわ大へんなところ〳〵あとのやまやまにまんさ時ちわやのそこわぞんぐくのこゑをまろとてはちと本をかわてきてまちのそバにおいつまでさじへついこみしまのふてとえかいちこきさうとさりちがてとれどうじまませてのよう上本をさ（ハ）てきこえこまつくこことなしふこえそのつきさうとこりかくふあとえのぐらまへ

「イヤおまへハ日きこうをきてせきもせねのゝをこゑそをを

「あふそのゝえへきさ
こゑ日きさぶうを▲

きて出うのんさまりちかへさとあかつて
まうこれかうかれんきうかうさえうに
こゑ巳へてうふぶうくしてまやまゑ
まうとまがいへかんあまうくまさ
そがんかゆのゝのこまうとまが
やへそうつかうい

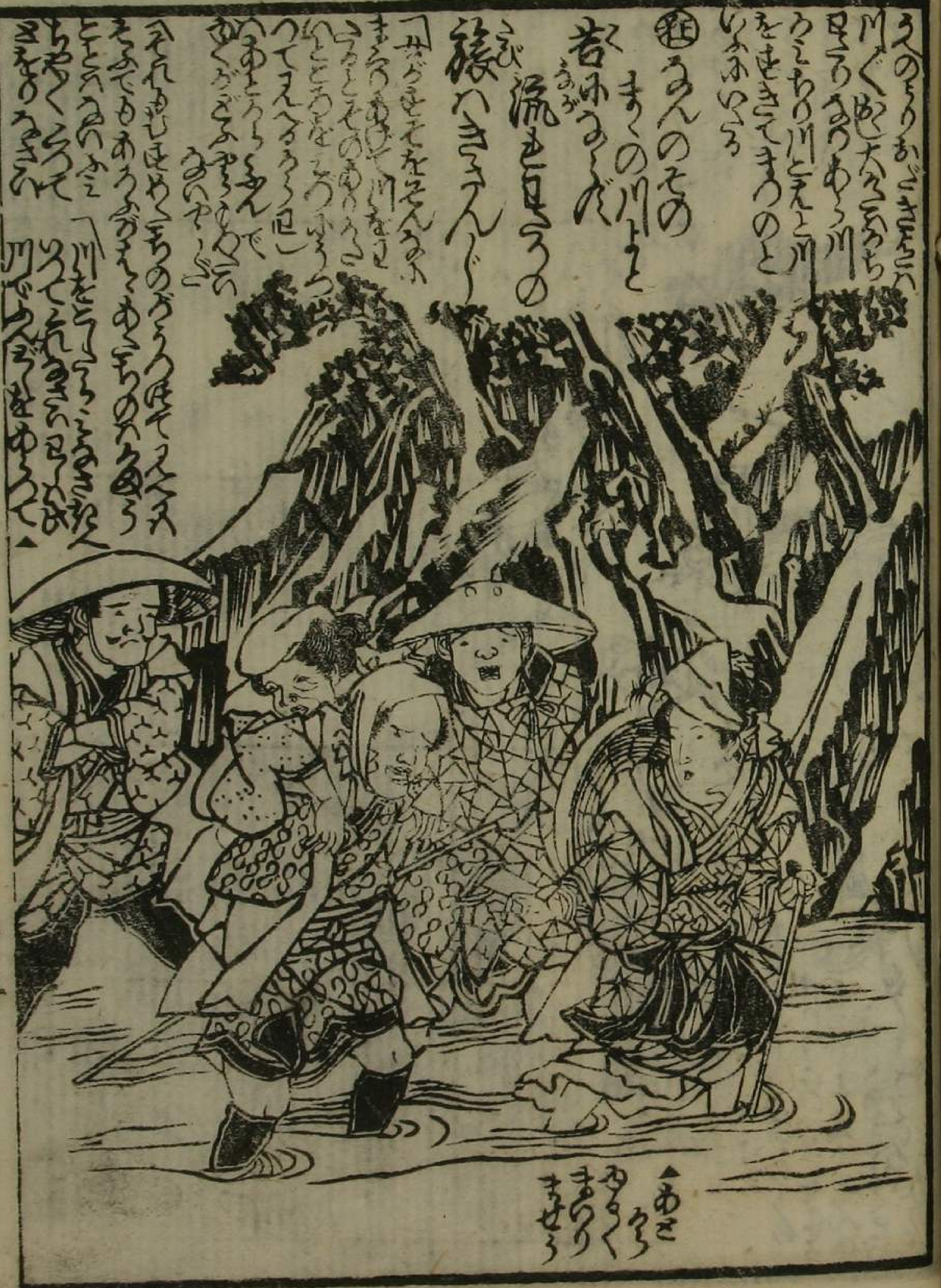


そのそりおごきそちこへ
川ぐちし大おろうちうち
日でりまりあつう川
かそちり川とえと川
をそきてまつのと
いふやろ

狂 うかんのその
まくの川よと
若ゆうれ
流もまさるの
猿（ゑび）へきこえんし

「みがるそをなをそんなふまつのあげそ川しなきるうかとそのあひのろさいとこをなえがつかろつへてえへるろ〳〵日」
「あまとつろ〳〵えんでおくがごふそもめらこいうあへそ〳〵

「それもむほめくちのがうのほてつええそうでもおうがそてあくちのへ魚うとこうの会「川をこうてうこ〳〵ろき歌人ちやくこつていつてこれあきい日うたさまりかさい川でかんぞをゆつて▲

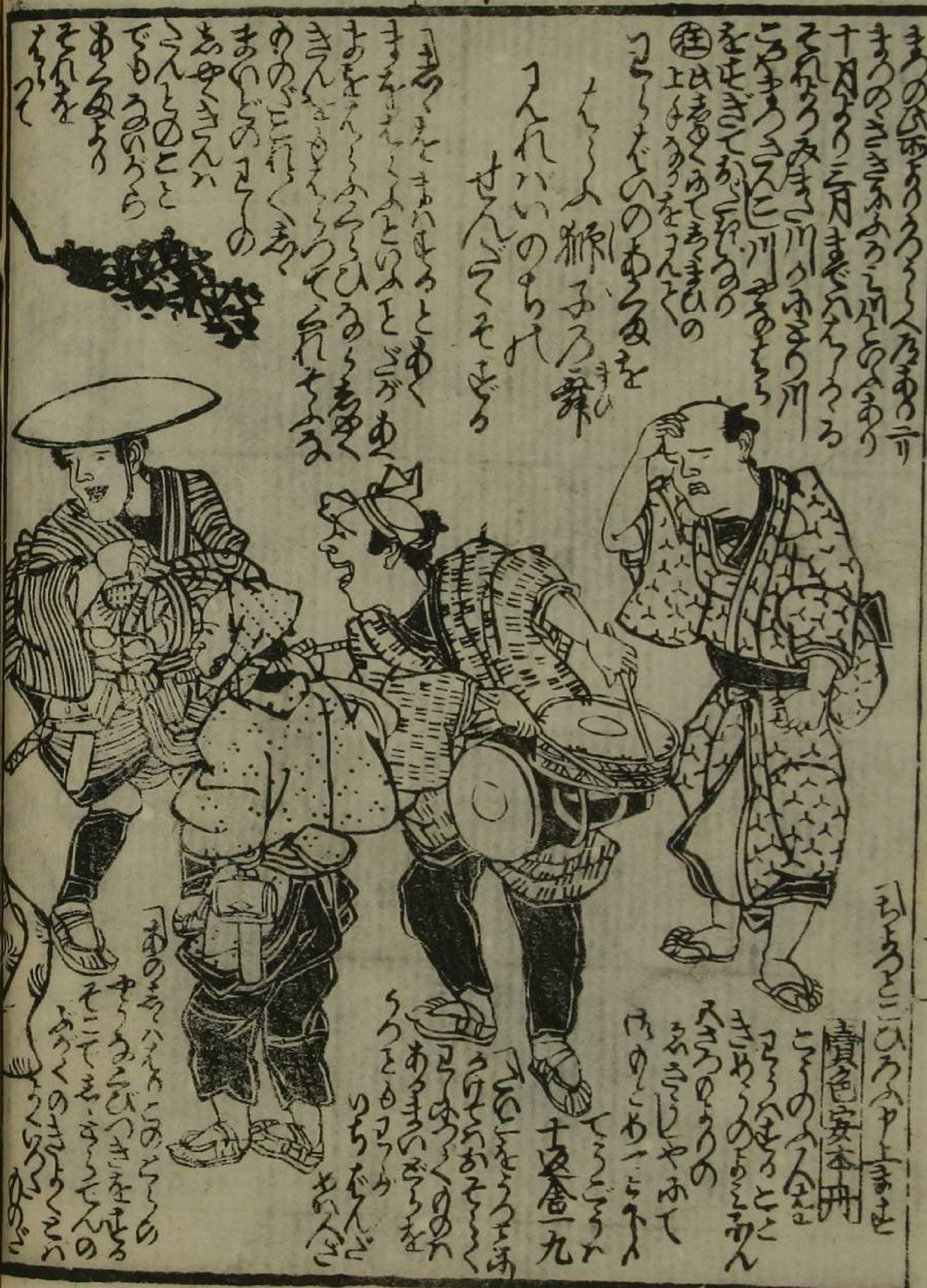


▲あさ
うく
あまく
まかり
ませう

ま松の野

まつのはまよりかうくへんあまあり
まつのさきみかた川とのへあり
十月より三月まで天りう川とう
それよりみつけまさ川のふなわたり川
こやまつさえ二川ありもちろ
をたぎておほこのかつり
㊟此あたりてあさまきのの
上手つかうをうえて
つらぬだへのあらまを

もちくへ獅子の舞（まひ）
入れかいのちれ
せんべてそとどろ



「あらくまとまゐはろとあく
ますえんくよといふをごがまへ
おをとへくろふくひろうあゆく
きんとやまうつて気ちまま
ののごこれくをて
まへどのまつの
おやききんハ
さんとのこと
でもうのうら
あらゆより
それを
もらって

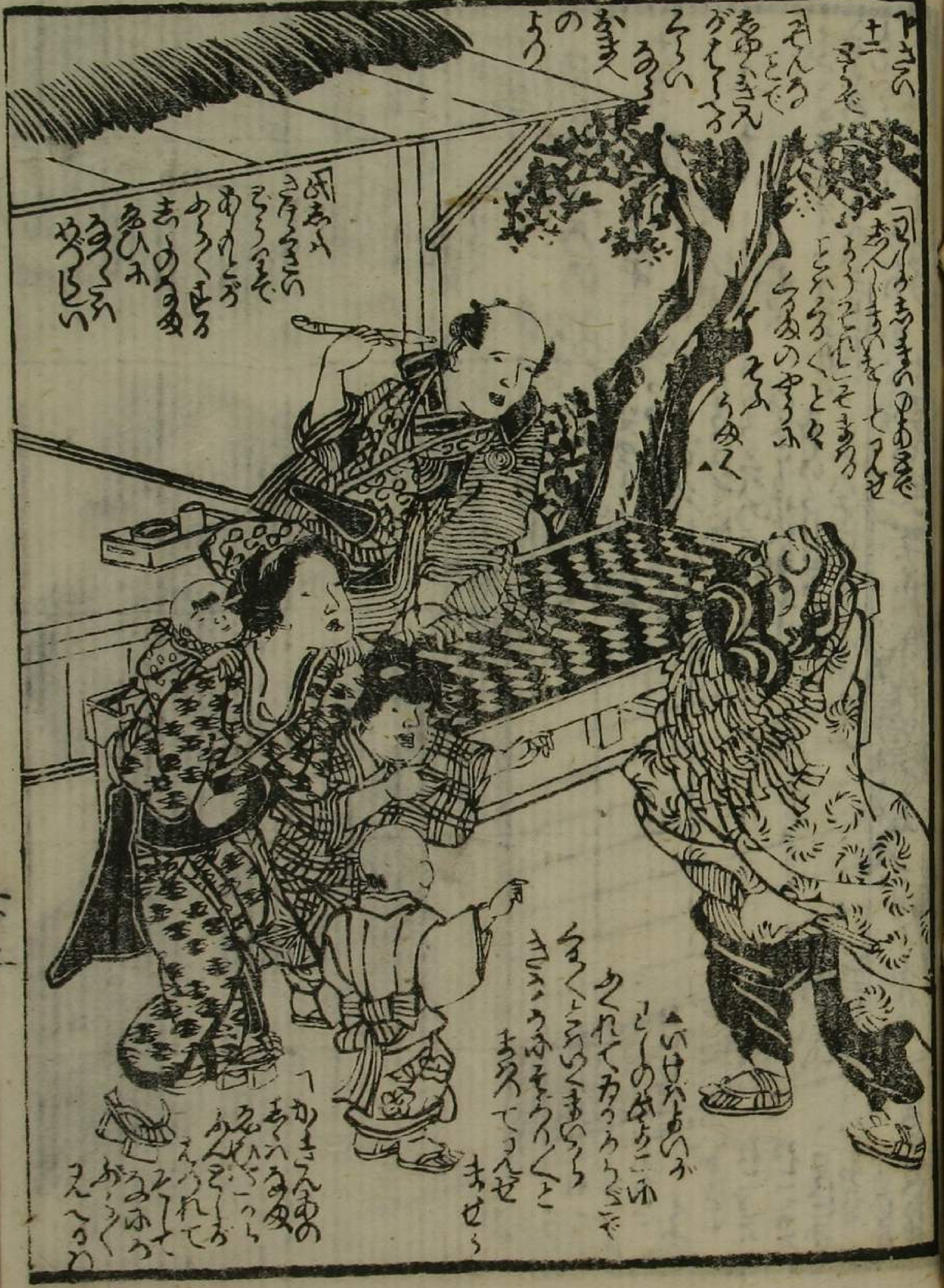
「ちよっとこいろのやよまた
こんのふんまは
きまへちろとこ
きまぐちのおまえぶん
入さつのよりの
あかさしゃみて
けのこかつてらアイ
てらこごうか

賣色安本州

十返舎一九

「たこをようまいあ
うけておそろく
ふりゆっくののれ
おまいかゞうを
うつともこつか
いちだんざ
きんざ

「あのきてハへんこのそうらの
やうおこびつききをよる
そこてゑすうてんの
ふりくのききようくそれ
さくいろさかのざ



やさへの
十二
子らを
「ぞんさるとて
まゆかきえ
がもらつるる
そのハ
うまう
かまへ
の
よう

「うれげまつまのめあるで
あへじまつれをしてんせ
ようつそれじぞまあろ
ことべらくとゞ
もくあのやうふ
そふ
らぬく

「此あハ
さうまきの
ぞうつそで
あれしろ
からくまろ
まのうるを
えひわ
まつくら
やぶらい

▲いけやよのが
としのせよこは
くれてかつるらぶ
まくとらいくまめら
きさへうふをうりくと
まえてつんせ
ませら

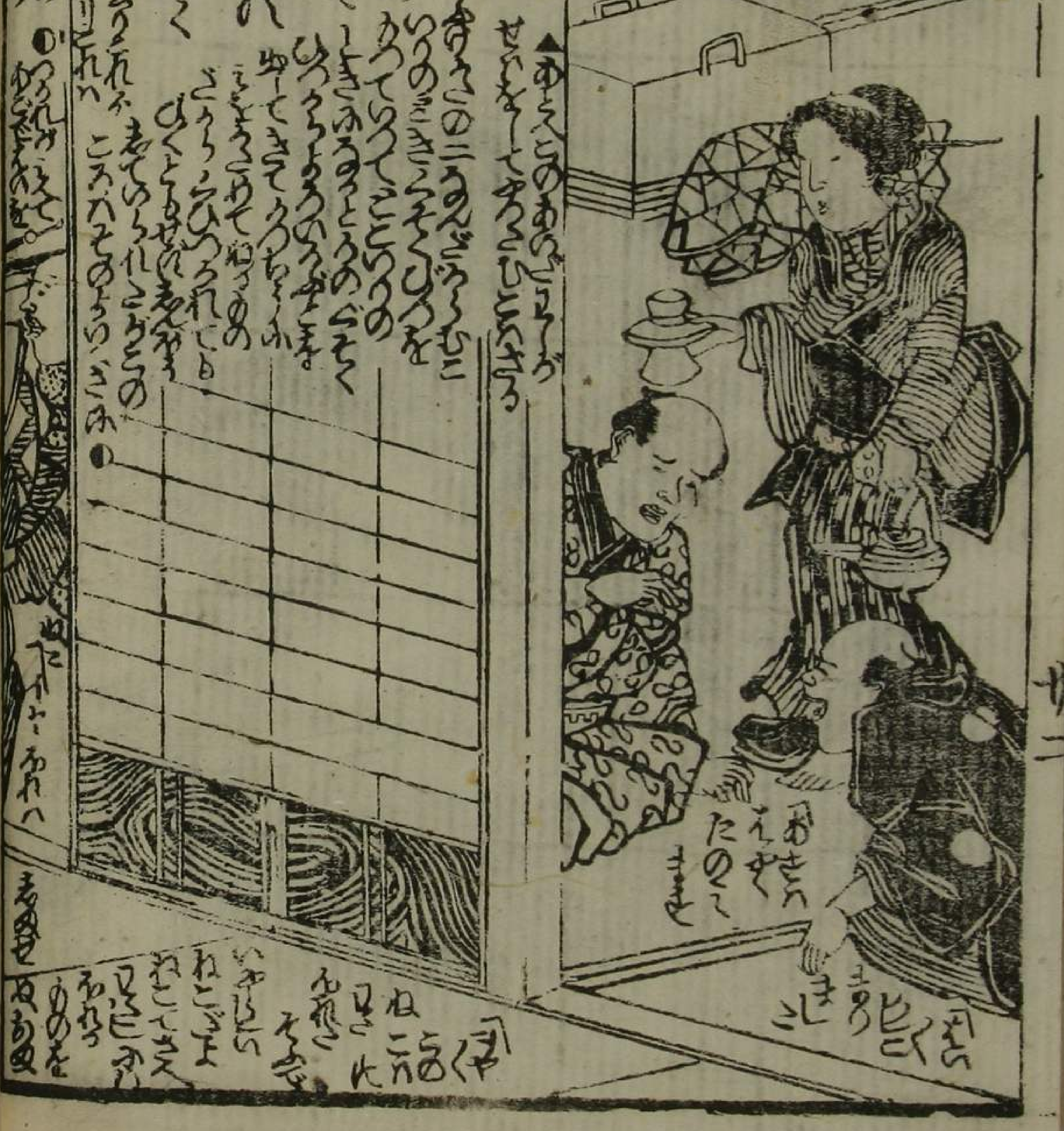
「かまさんあの
あくハうる女
ゑはべへつら
ふんそしお
えかられて
ゑつて
うみほう
がらく
えへうれ

大瀧行

おつれとなりのあん
まどくへ二リよまり
[illegible]
[illegible]

（主）嫗しや 婆ぶろの こととさそ だらてあの こゑれ ここを つくねく

[illegible]



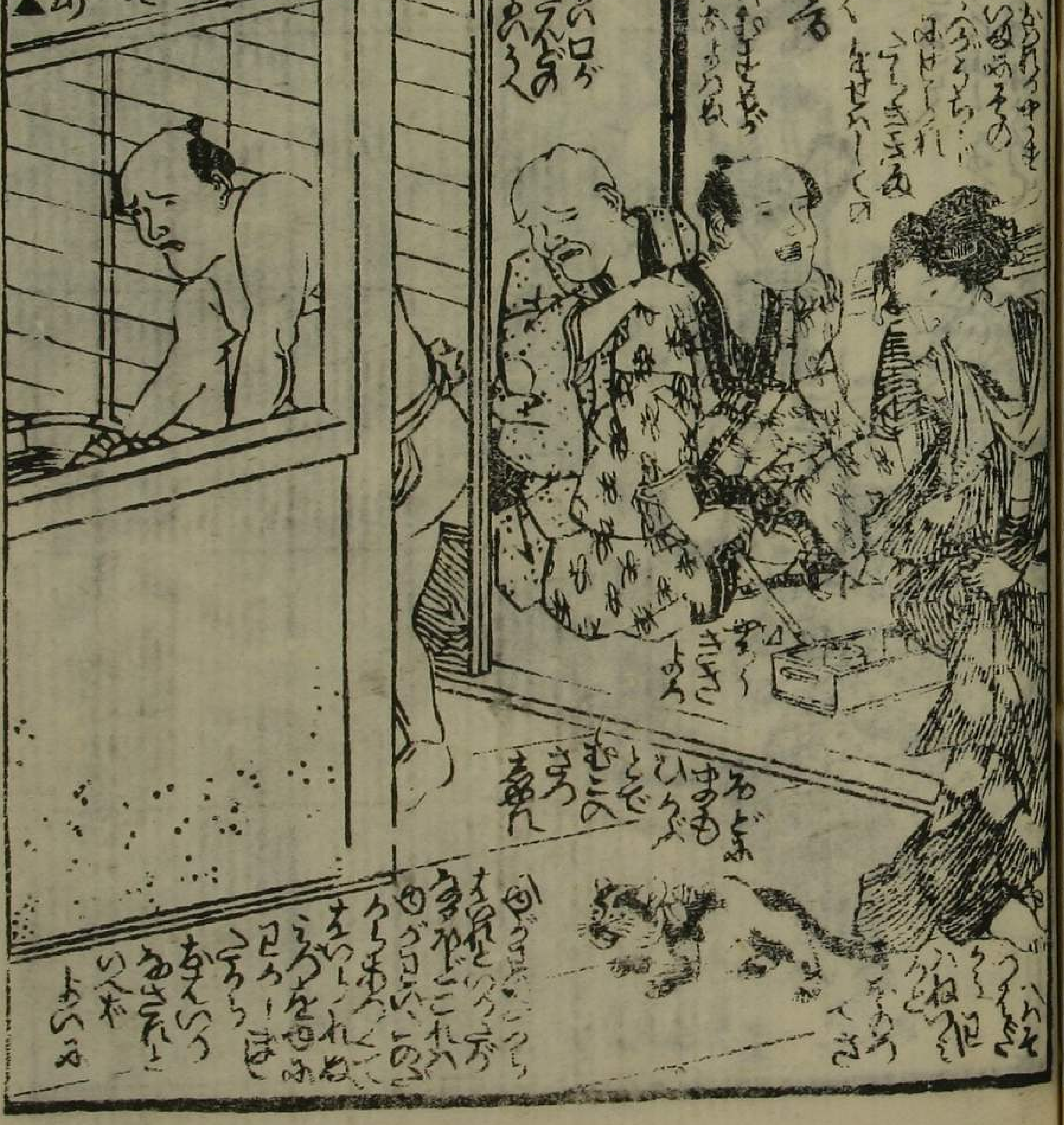
（主）志やんせいへを

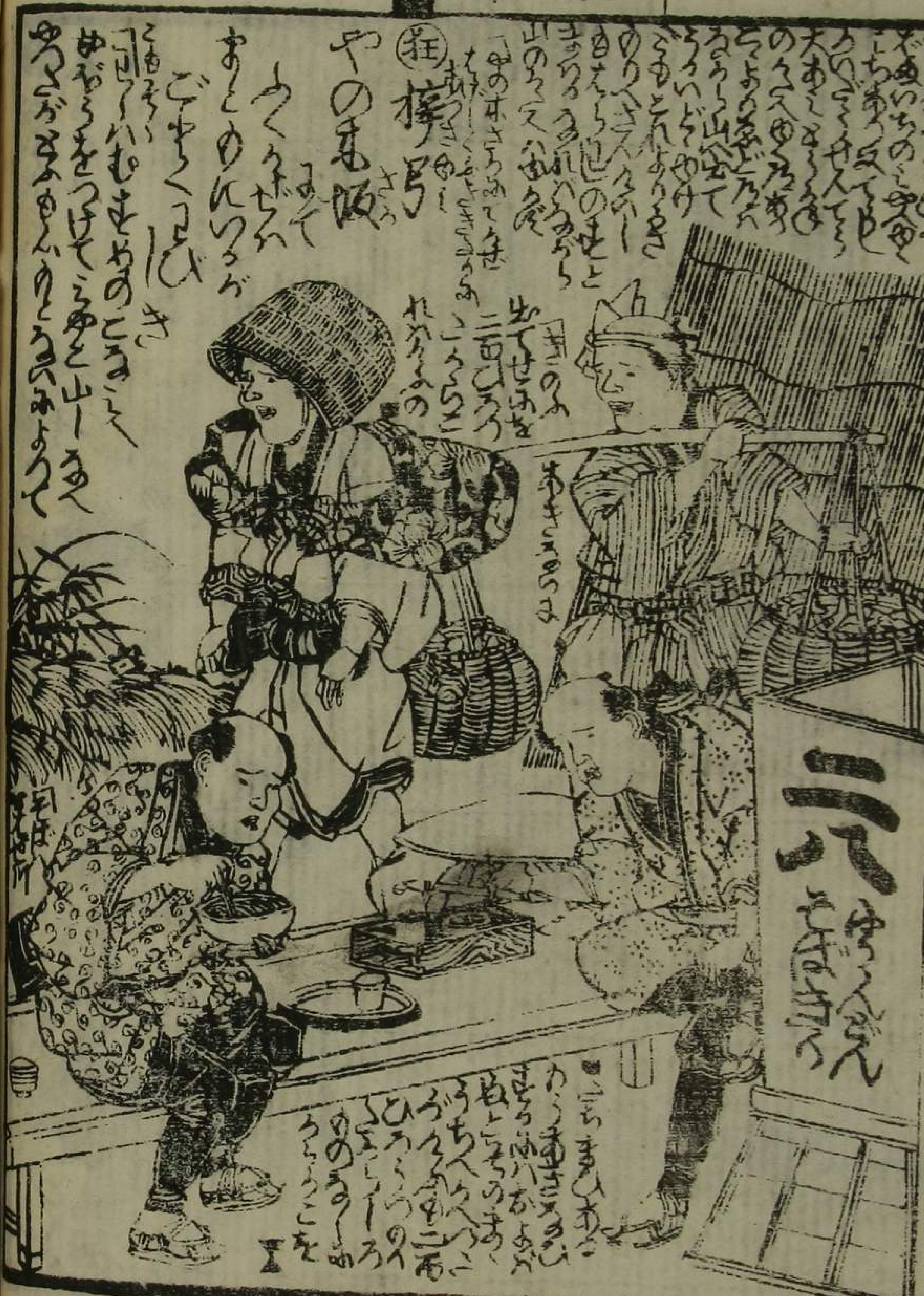
本質らありの 千本鎗吉

[illegible]

あちらから 三両やそうの えらく金 申してむとが

[illegible]

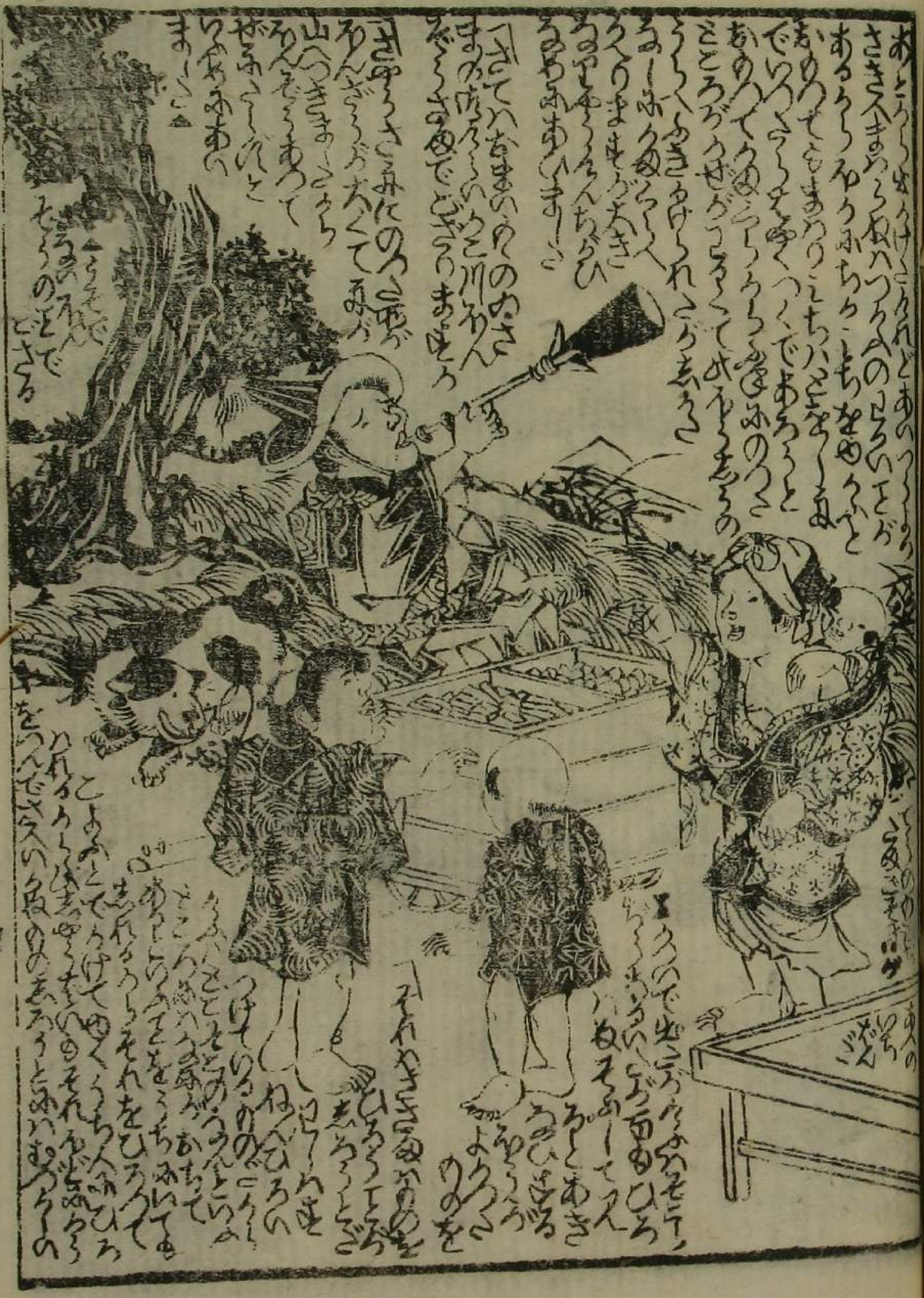




二八 うんどん そばきり

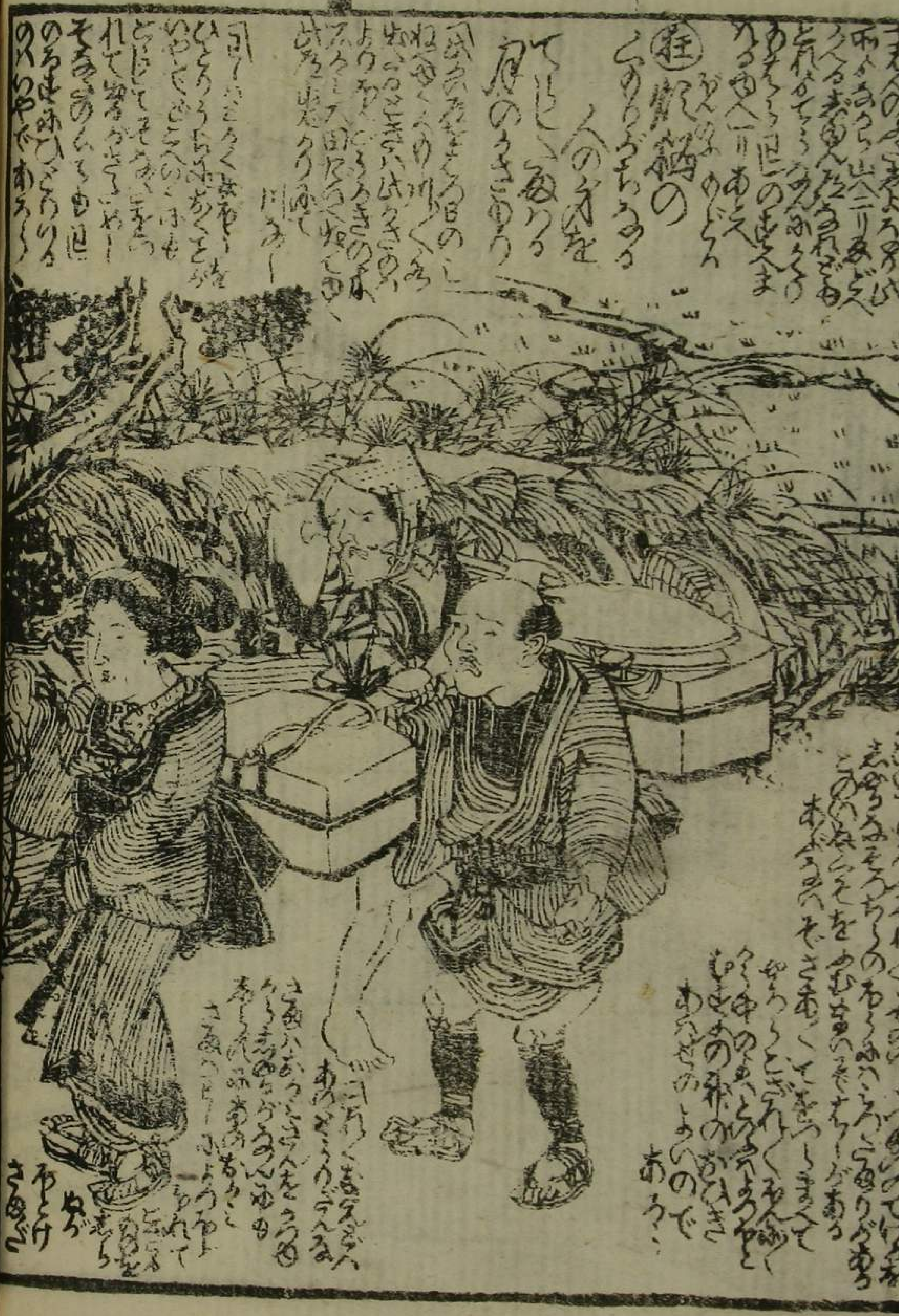
（狂）

[illegible]



[illegible]

笈も乎



かさのりらんかんむんぞう三すまんのかざまよろ弓ひゆかおろら山へ二り多どへつくるおゝまんだとくおれどもどれかてつうみんぶくりあそうら〳〵但の出えまうつゆへ一りあえがんのかのどらん

（狂）飢鶴のふかりぶちわるか人の才をてらしあるる月のうきゆり

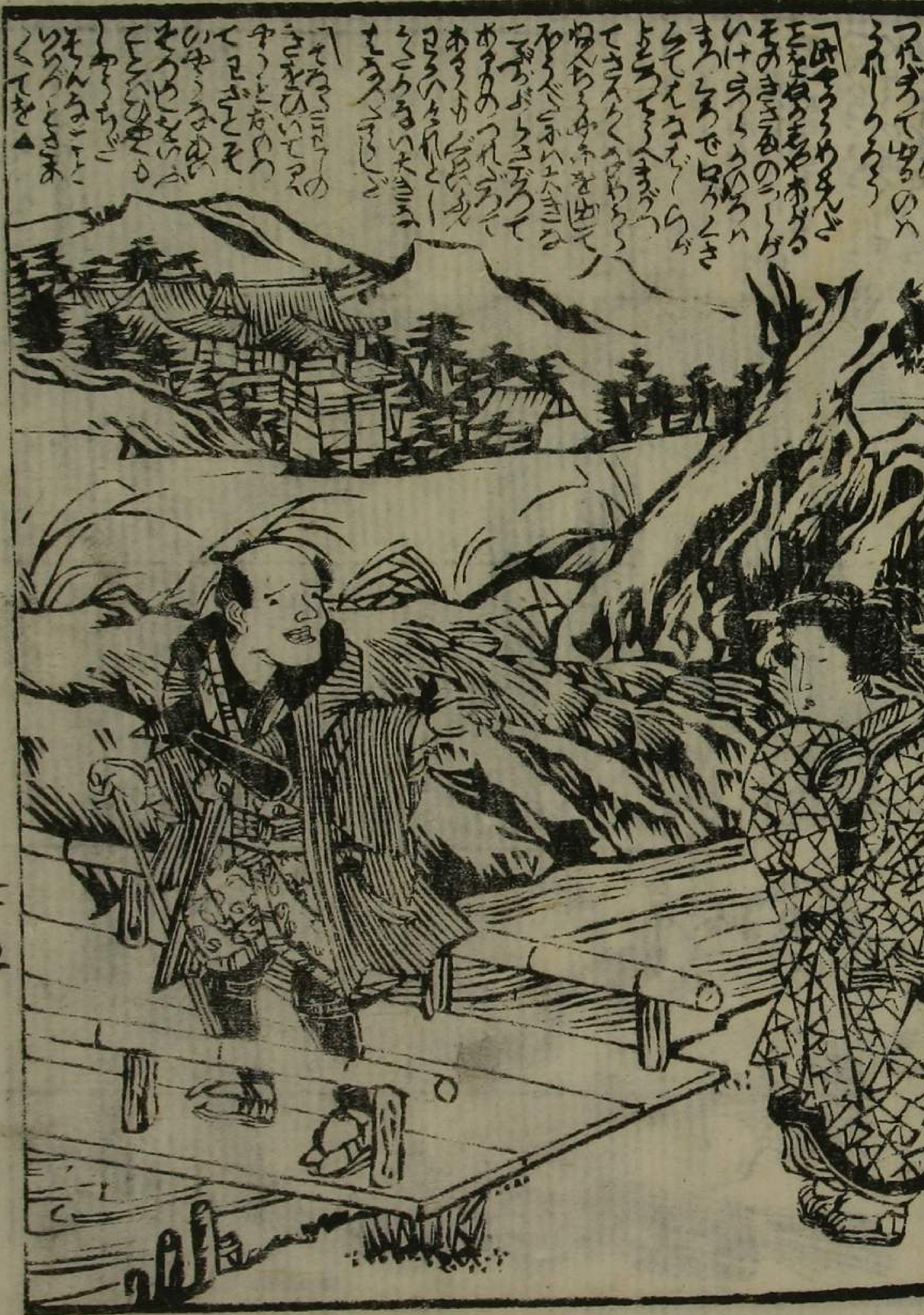
「ばあやよろ〳〵但のしねゆくへの川くへ出かけのときゝはろきこのもよりかどころさのまにみなと田たらく如てあいかつ出ゆくうりみて　ドかみ〳〵

「コレ〳〵さくろく出来た〳〵ひとりうちおちくてさがいやでござへひとはもどうじてそてみおくおそれて出るかぞてやいそうきのふも出但のうま時ひさりりはのいわやでおろく

「ひのてゆうんそれ〳〵そのわ〳〵つまのてげがおまやうみそうちらのおくやうらふくわりがあうとかいおいてをかむちゝへそてすちゝがあうあぶうえへぞさあ〳〵てまつ〳〵まんへてやうらとぶれ〳〵おんゆく〳〵中のあへとくらうよろやとしまのおいのおひきさあいぜのよいのであうぞ

「コレ〳〵まきるんぞへあのぞうさうがらんなさあへあうらぶらんをとうのかうまやちがうふのんゆゆあくうえのいあまのもかくさあへどうかようか一ちうれてどれふおかをまうら

めづ　あとけ　さあぐ

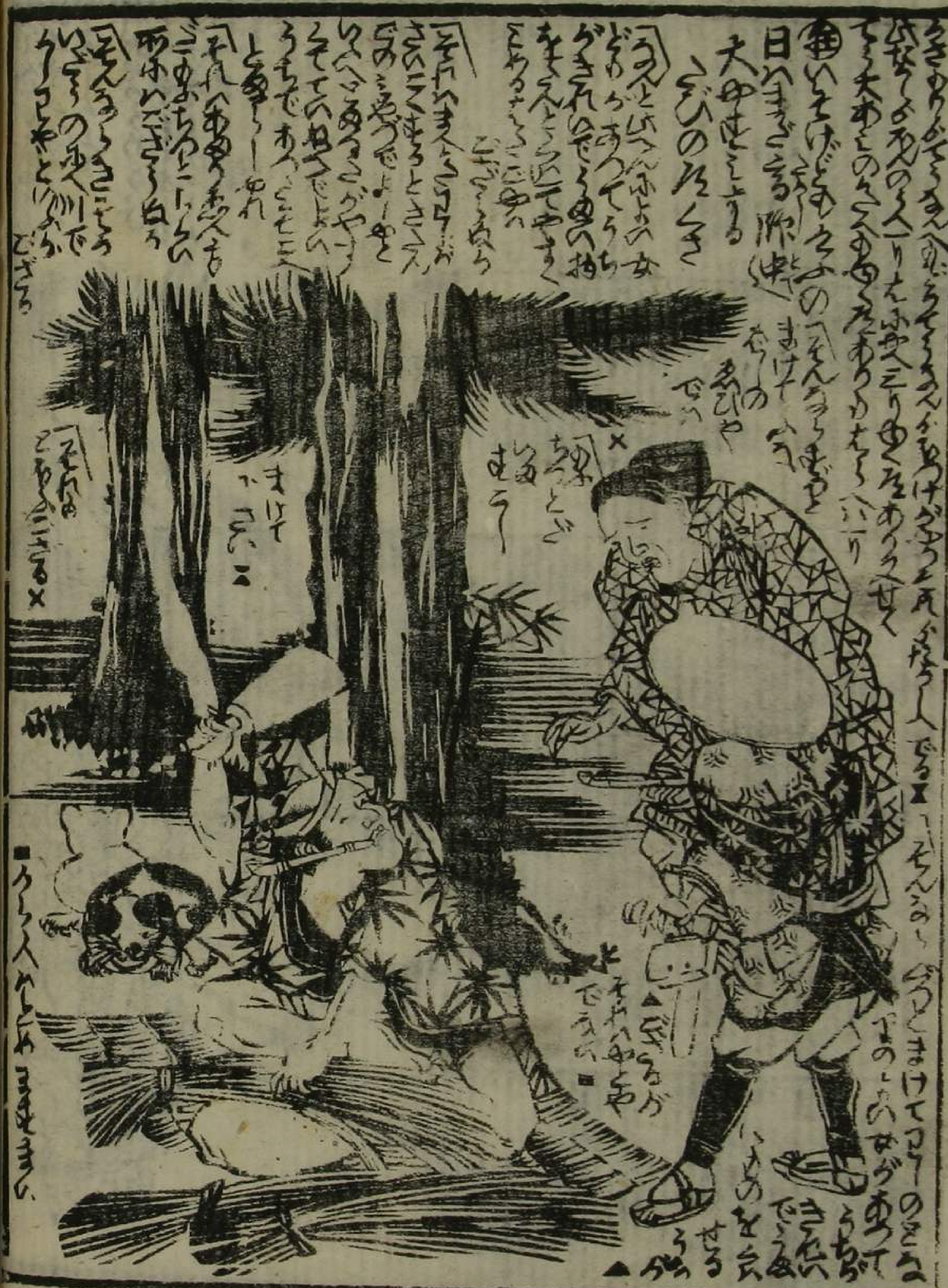


かうらうと成ゆうかつれずうて出るのへえれしかうう

「成ちうめそんぞまれのそやおびるそのきさまのいうげいけらうらうのうがまつるうで口うくさらえんさえらしらぶよるでちへまづうてさえく〳〵めがわるう出ちゝゆ木を出てみろべこぶいよ大きなこぞうぶらさずうておまるのつれづうておそうわかぶむいえるうへのれとしそこのるい大きさますうへてくさしご

「てるゝごさうのさきをひいておえやうとおかのてさきてそいみうるぬのいそうせそれかもとこへひ出へも

「やれちうごそんなことをいかうとさまくてを▲



うきめりがてうきん[illegible]
なおしておこの人へ入りたふ[illegible]へ三り[illegible]
て大あとの[illegible]
爺いそげどもなふの
日へまこ言御蛇
大ゆはとよする
こびのえくき

「うへとびへんふよの女[illegible]
[illegible]がてう[illegible]
がされ[illegible]のへ[illegible]
[illegible]

「それはまへ[illegible]
[illegible]
とあ[illegible]それ

「それへ[illegible]
[illegible]

「そんな[illegible]
[illegible]でざる

「そんなら[illegible]まけて[illegible]

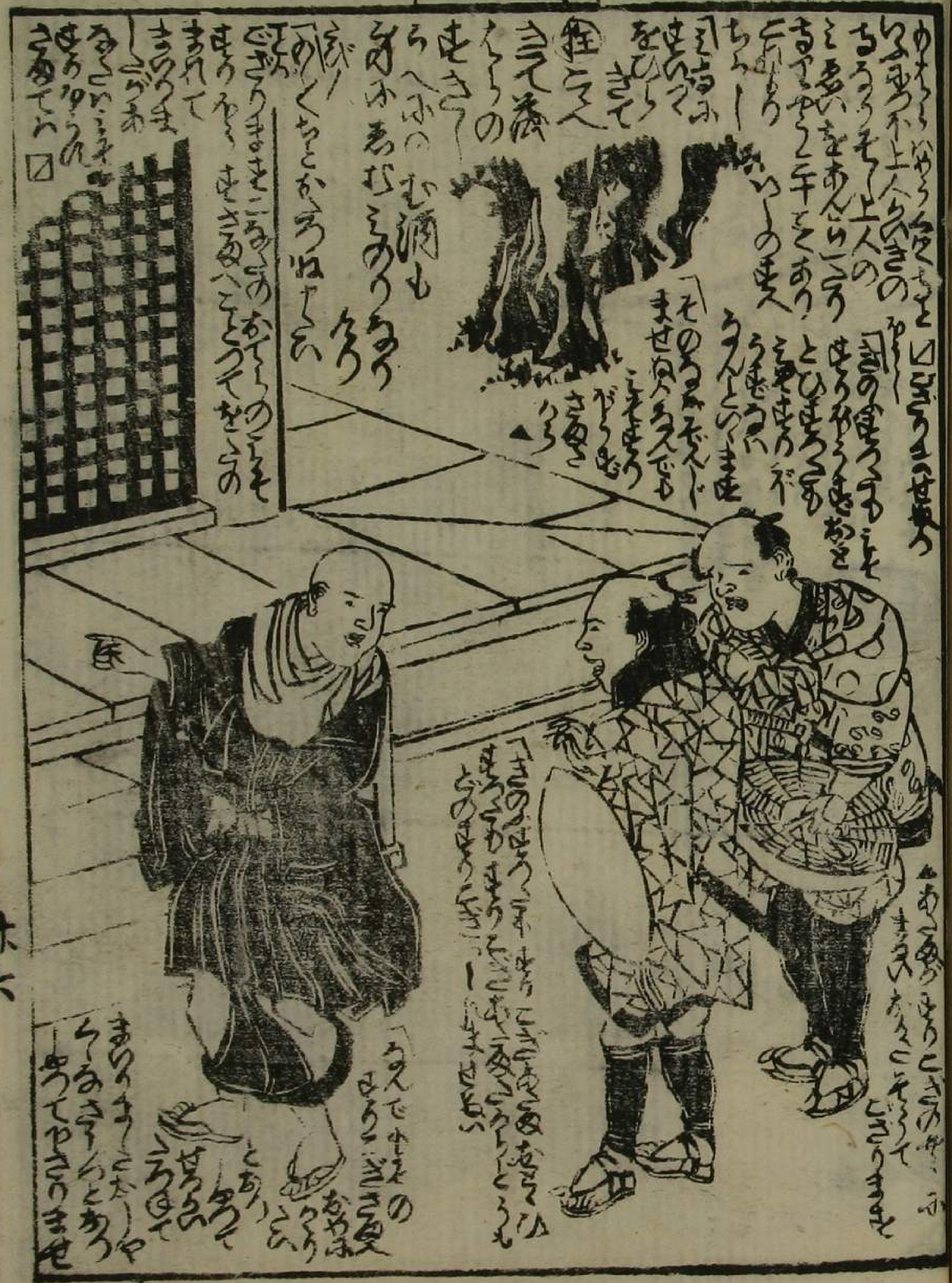
「それなら[illegible]でござる×

まけて[illegible]

■[illegible]人[illegible]ませまい

▲あら[illegible]

十五



か義き原

[illegible]ざりまま世あり
[illegible]
[illegible]
[illegible]ちへの毛え

「[illegible]まで
をひら[illegible]きて

「その[illegible]ませぬ[illegible]さあさ
から
▲

爺「こて[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]む酒も
[illegible]

[illegible]「めくちとかうねてゐ
[illegible]ござりますそこの[illegible]おてらのこと
[illegible]さまへ[illegible]

[illegible]
[illegible]

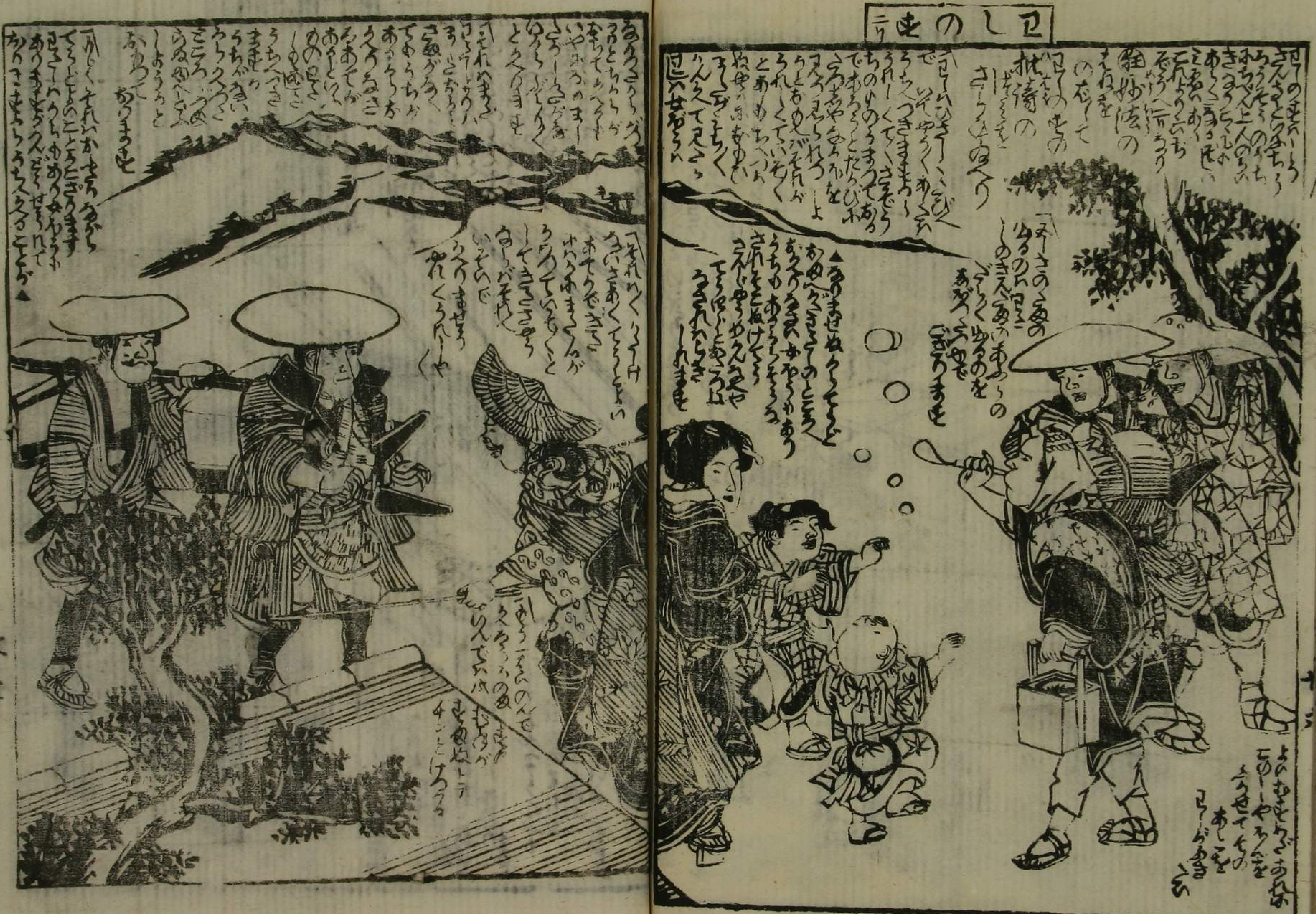
「さの[illegible]
[illegible]

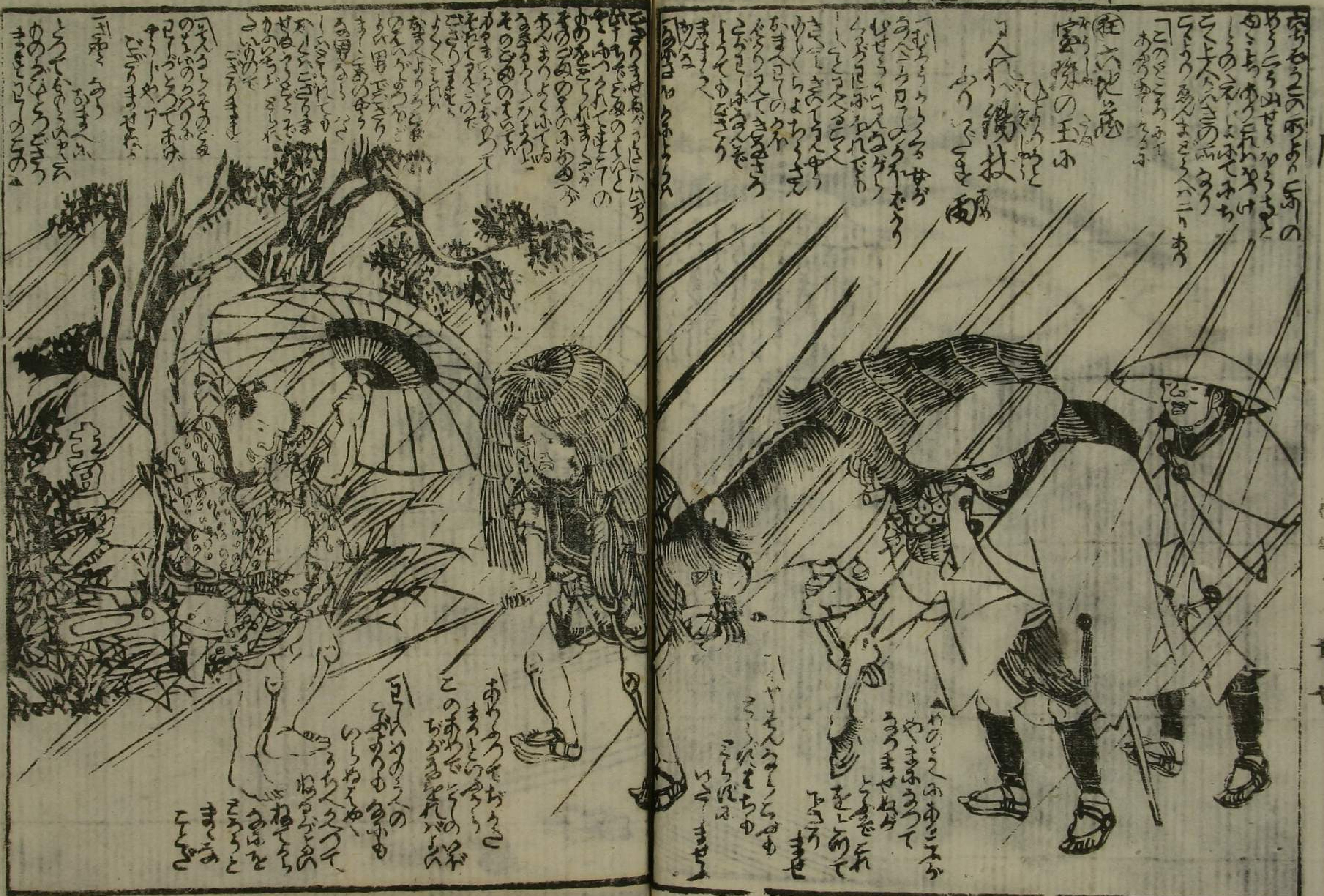
▲あ[illegible]ござります
[illegible]ござります

「[illegible]でそれの
[illegible]おや[illegible]

まの[illegible]
[illegible]てやさりませ

十六


[illegible]
妙法の
[illegible]



宗ちむうこの所より所の めう二ら山せを かうちと 由こちあかこれをのけ しうのえ よふてゐち こく上大人さこの所よう こそよりあんまきろへ八二りあり

「このところをみて あかずあそびて[illegible]

狂 六地蔵

宝珠の玉に ひよりかたと入れ 錫杖 ふりてくる雨

「むよう[illegible]せう あへこう[illegible]そう むせう[illegible] [illegible]これでおわ しこう[illegible]ろく きう[illegible]てうえ中う めしくらよちくさえ おまへ[illegible]の[illegible] [illegible]てき[illegible]きろ [illegible]は[illegible]そ ようてかなきろ まいすくく

[illegible]

ござりますせ[illegible]にへ[illegible] [illegible]のそひと [illegible]てまこての [illegible]れますろか [illegible]の[illegible] あんまりよくふてゐる [illegible] そのこ[illegible]の[illegible] [illegible]あって それてそこのぞ ござりますそ よくくされ [illegible] [illegible] [illegible]ござります [illegible] [illegible] [illegible] [illegible] いのめぞ ござりますまし

「[illegible]そのこ[illegible] [illegible]てゐけ 中う[illegible]やア どござりませぬな

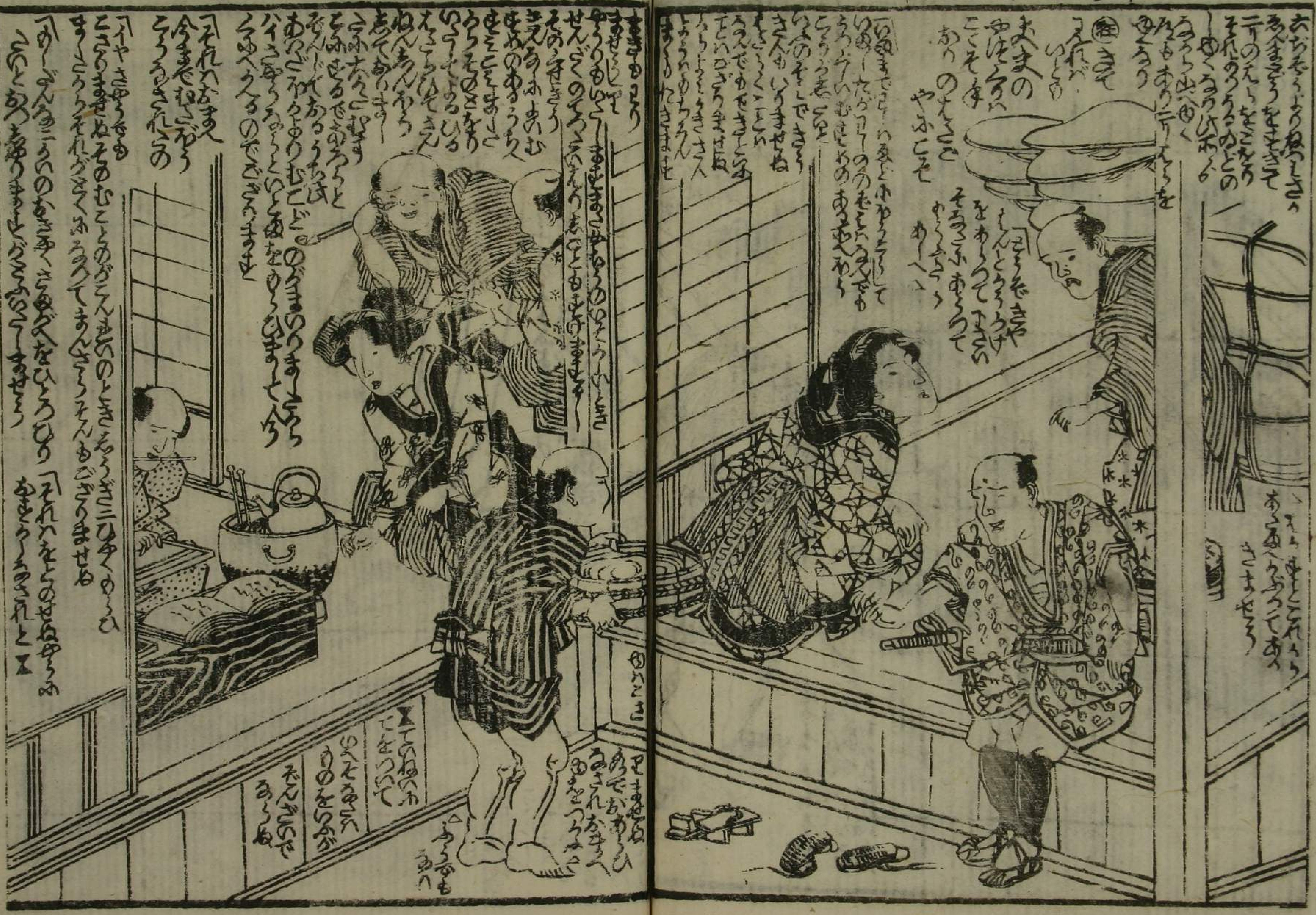
「[illegible] おまへには[illegible] とうでなの[illegible] ゆの[illegible]ござろ まきとうてのとの

わのとくのおこえか やまふうって ありませねか とうぞ気を あて よろ ませ

「いやそんなことは[illegible]も [illegible]ちも こうれは いさいませ

「あわつそぢろうと まことかつら このすがで そこの名が ちがえれバよれ

「旦那のやうくへの ぶすつも気も いらねへや うちへ久つて ねぶとの ねてゐる つらを まくみ とうと



おぢやうより抱っこさゝへぐまさうをさきさて二ヶ月のえらをさこえりそれのうちのとのしゆくろうか付とゝかゐろう出へ（〇）くゐともおの二ヶ月ゑうをゆくろう

（〇文）さぞこれば いとゝおまへの田はうへこそ手ありのえごやふこそ

「いやまでさへわるくふかくてしいゝーたがうつゝのうちのむかしへうちのいむきとめのあるこゝうらゑとよくこのそこできまいさんかいうまやせぬまさくことゝいゑんでかをきてふそれがうつまぜぬふらとうしききさ人ようれめちゝんまくりわきまませ

「さやそきやもんとうけをわらつてまさいそうさふあらつてわらふさうかへへ

ねまもゝりおすゝしてもゆうもいてくまもまさんひうのはそうおいときせんぞくのそうさへえんりきでとももまけますそのうおきさうきえろふあむむむのあるうちくもとことまさうちそのとなりいくそよりしろえきうむきえさねんぎんかうよそおいまゝうふ太くにむすちふきるでおのうちはぞんしぐておうちうちあのござかよりむこどのがまのりますうらバイきうらへとひき面をもらつてまいりますくゆへうえるのでござりますと

「それハおまへ今までむさいうこちうきされこの

「イヤさゆうそもこさのまいぬそのむことのがくえんまへのときぞうぞさままくうらそれがそくふかくてまんぞうそんもござりませぬ

「めーぜんかニかいのおきさらくさかぐへをひろうひりこのとおつまりましぐらふいてまぜう

「それハゑとのせぬゆうかあまり一ゐさむされと

〽えゝまことにこれからあゝあへかかうてあつさきませう

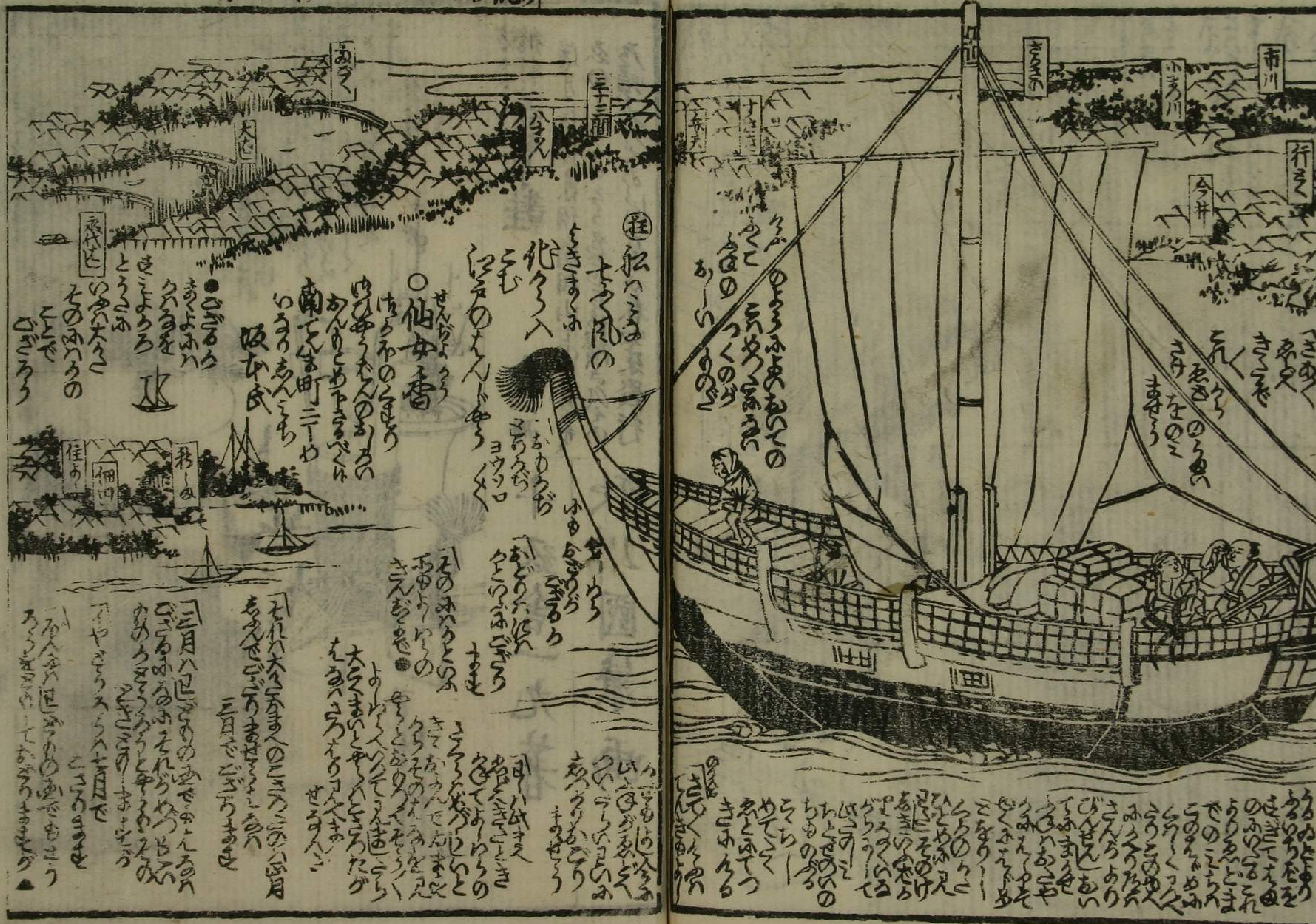
まかなきさ

さまるのあそでおかわうひあきさされたれうへさままをつうさ

△ ふうすもあへ

〽てのねへわてをつけてゆへそあさへりのをらかがえんざいでまくね

「行徳[illegible]船[illegible]江戸と[illegible]着け場」


市川
小まつ川
今井
行とく
八まん
三十三間
大はし
永代はし
佃島
住よし

狂 舩ならで七ツ風の[illegible]化くる入こゝも江戸の[illegible]

せんぢよかう
○仙女香
けしやうのくすり[illegible]
南てん馬町三丁め
いなりしんみち
坂本氏

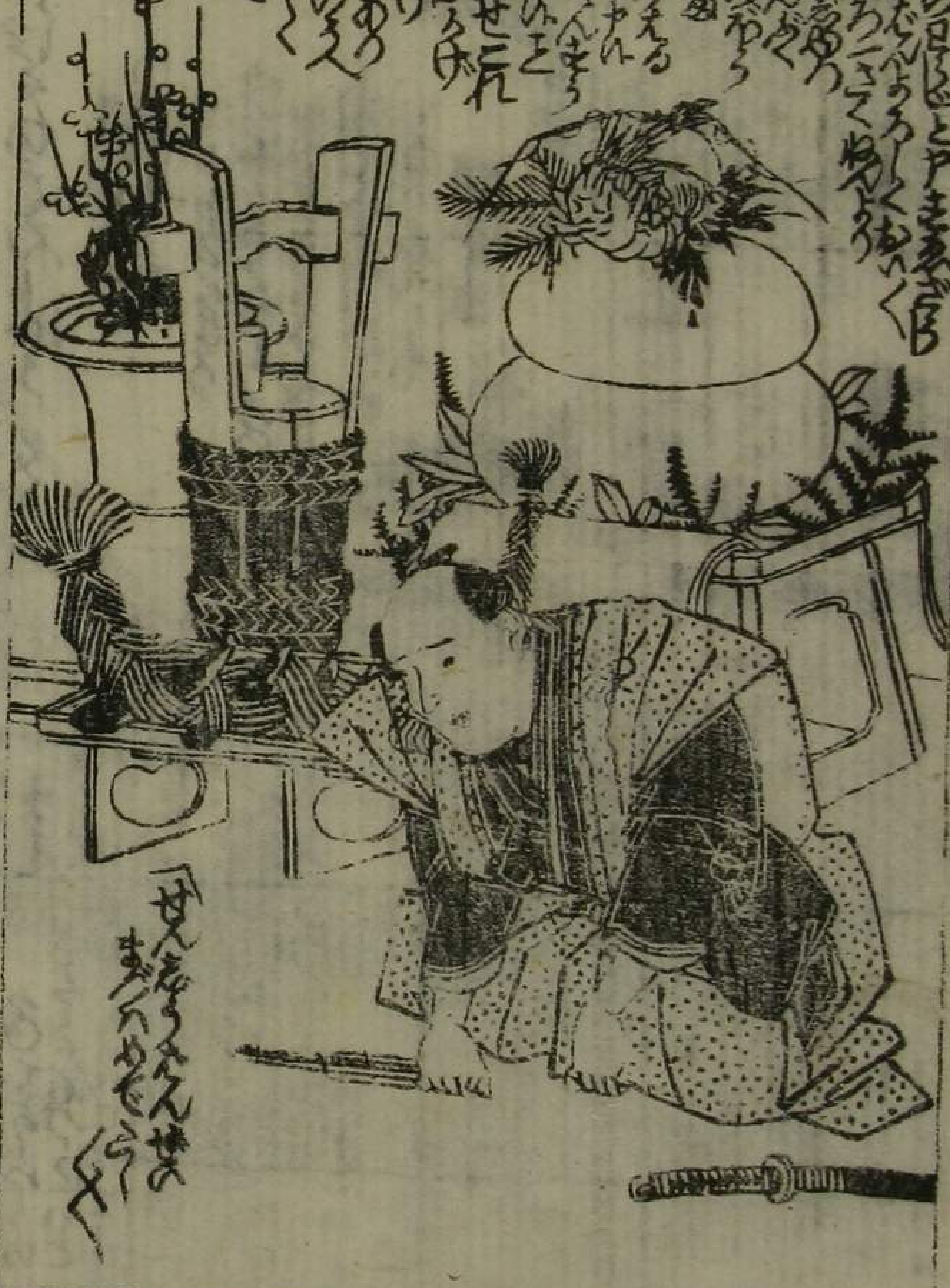
●ござります[illegible]ところ[illegible]大きく[illegible]ことでござろう

[illegible]

「三月ハ[illegible]三月でござります

[illegible]

すのねんさくこうてうのゑまのひらけしとやまきごし
きつゝーかれりつゝもこひゆらんだらんよろこんでおく
ゐゆりせんつゝあうゆゝごころ一さてめでた
さて変びやうき」にてちよと顔見つ
のてぐくやうくこの世へ身んだく
のうゑつゝいやくさうまさらのやう
存ちくは化するおさくぬさ画
ぐさの情このことまかせさうえる
十七へんのもんえんさうほど一これ
およそ年ごとのうゑうかつへんまう
をかさ[illegible]たちんいてはそ
らのゐのにはらしの声あかせ一丸
ころおかさくやさあうらのおゝげ
日ニらーしくさのくはかられけ
うはよりかつてくゑうのあり
くるいとこいごえのくるをらのえ
さるはなふらだんよろしく
ひとへにふかくねがいあげそ
まはうれ　かそこく
しらく


「せんちうえん様
まへかそ候く

方言
修行金草鞋　全六冊

道了権現参詣箱根山七湯めぐり并ニ
江の嶋かまくら名所古跡残さずその
道順委しくあらハし来子春出来發行

十返舎一九著

歌川國兼画